

取付説明書

Dea's Alpha Wood Unit Fence

アルファウッド ユニットフェンス

このたびはDea's Garden製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
正しく組み立てをしていただくために、この取付説明書をよくお読みください。

⚠ 警告

このパネルは隣地との境界を示すための目的で設置するものです、
転落防止のための防護柵や歩行補助のための手すりとしては使用できません。
特に崖上や高台など、転落してケガをするおそれのある場所へは絶対に施工しないでください。

施工される前に

- ◆ 製品の組み立てには危険を伴いますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ◆ ブロックに施工する場合は、JIS A 5406 (C種) 以上で施工してください。
- ◆ 指定寸法は必ず守ってください。
- ◆ 梱包明細表 (⇒2ページ) で必要な部品が揃っていることを確認してください。
- ◆ 変形や破損の恐れがありますので、開梱後のパネルを平積みしないでください。

施工上の注意

- ◆ フリーポールと接続部の間隔は2,000mm以内にしてください。それ以上離れると製品強度が維持できなくなります。
- ◆ フリーポールのピッチは最大2,000mm以内で施工してください。
- ◆ コーナーカバーを使用する場合、角部には必ずフリーポールを2本施工してください。
- ◆ フリーポール底部分のモルタル進入防止テープは剥さないでください。また、フリーポールの内部にモルタル等を詰めないでください。
- ◆ コンクリートやモルタルに塩分を含む砂のご使用は避けてください。また混和材を用いる場合は、非塩素系またはアルカリ系のものをご使用ください。
- ◆ 製品に付着したコンクリート、モルタルは速やかに取り除いてください。
- ◆ この製品は外気温によって変化する板材の伸縮に対応できるよう設計されています。切断加工時などパネルを分解した際は、本書に従って正確に組み立ててください。
- ◆ 製品を切断する際、本書に工具の指示がある場合は必ず指定の工具を使用してください。
- ◆ 組み立てが不十分だと強風で外れる場合があります。本書に従い確実に固定してください。

梱包明細表

A

基本寸法・
標準施工方法

B

コーナーカバーを
使用する場合

C

パネルの切断方法

D

パネルの組立て

E

アルファウッド支柱に
施工する場合

F

補強レールについて

G

A 梱包明細表 (1～3型共通)

- 開梱時に部品の種類と数量をご確認ください。
- 商品に異常がないことをご確認ください。

● T10パネル

部品名称	員数
T10パネル	1
取付説明書 ※1	(1)
取扱説明書 ※1	(1)
保証書 ※1	(1)

● T8パネル

部品名称	員数
T8パネル	1
取付説明書 ※1	(1)
取扱説明書 ※1	(1)
保証書 ※1	(1)

● T6パネル

部品名称	員数
T6パネル	1
取付説明書 ※1	(1)
取扱説明書 ※1	(1)
保証書 ※1	(1)

※1. 取付説明書、取扱説明書、保証書は1現場に1冊ずつパネルに同梱します。

● T10フリーポール

部品名称	員数
T10フリーポール	1
皿 ドリルねじ (φ4×50)	2

● T8フリーポール

部品名称	員数
T8フリーポール	1
皿 ドリルねじ (φ4×50)	2

● T6フリーポール

部品名称	員数
T6フリーポール	1
皿 ドリルねじ (φ4×50)	2

● T10端部カバー

部品名称	員数
T10端部カバー 右	1
T10端部カバー 左	1
T10縦棧 右	1
T10縦棧 左	1
スペーサー ※2	(10)
エプトシーラ (10×150)	2
なべタッピングねじ (φ4×50 ガイド付)	8
専用ドリルねじ (φ5×25)	12
皿小ねじ ((D=6) M4×10)	6

● T8端部カバー

部品名称	員数
T8端部カバー 右	1
T8端部カバー 左	1
T8縦棧 右	1
T8縦棧 左	1
スペーサー ※2※3	(8) (14)
エプトシーラ (10×150)	2
なべタッピングねじ (φ4×50 ガイド付)	8
専用ドリルねじ (φ5×25) ※4	10
皿小ねじ ((D=6) M4×10)	6

● T6端部カバー

部品名称	員数
T6端部カバー 右	1
T6端部カバー 左	1
T6縦棧 右	1
T6縦棧 左	1
スペーサー ※2	(6)
エプトシーラ (10×150)	2
なべタッピングねじ (φ4×50 ガイド付)	8
専用ドリルねじ (φ5×25)	8
皿小ねじ ((D=6) M4×10)	6

※2. スペーサーは、端部カバーに組み付けられた状態で入っています。

※3. 2型の場合は、スペーサーの員数が14になります。

※4. 3型の場合は、専用ドリルねじが1本余ります。

● T10コーナーカバー

部品名称	員数
T10コーナーカバー 中	1
T10コーナーカバー 左	1
T10コーナーカバー 右	1
コーナーカバーキャップ	2
皿小ねじ (M4×6)	2

● T8コーナーカバー

部品名称	員数
T8コーナーカバー 中	1
T8コーナーカバー 左	1
T8コーナーカバー 右	1
コーナーカバーキャップ	2
皿小ねじ (M4×6)	2

● T6コーナーカバー

部品名称	員数
T6コーナーカバー 中	1
T6コーナーカバー 左	1
T6コーナーカバー 右	1
コーナーカバーキャップ	2
皿小ねじ (M4×6)	2

● 端部キャップ

部品名称	員数
端部キャップ上 右	1
端部キャップ上 左	1
端部キャップ下 右	1
端部キャップ下 左	1
皿 タッピングねじ (φ4×13)	4

● 接続キャップ

部品名称	員数
接続キャップ 上	1
接続キャップ 下	1
皿 タッピングねじ (φ4×13)	4

● ユニットフェンス取付用
支柱キャップ 60×60/70×70

部品名称	員数
ユニットフェンス取付用支柱キャップ	1
穴隠しキャップ	2
ドリルねじ (φ4×13)	2
ガイド用チューブ	1

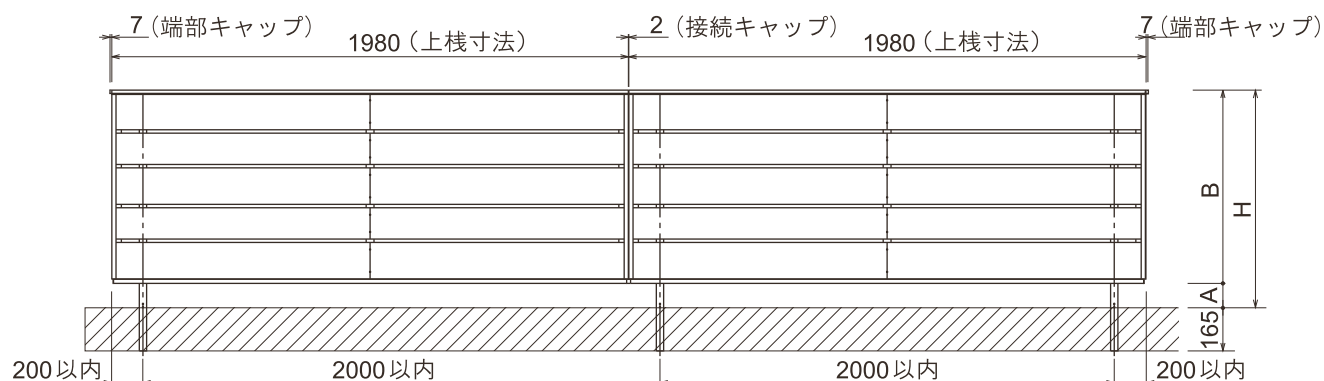


各部品はパネルやフリーポールに同梱して送る場合があります。

■基本寸法

(単位:mm)

サイズ	H	A	B
T10	1000	66	934
T8	800	59	741
T6	600	52	548

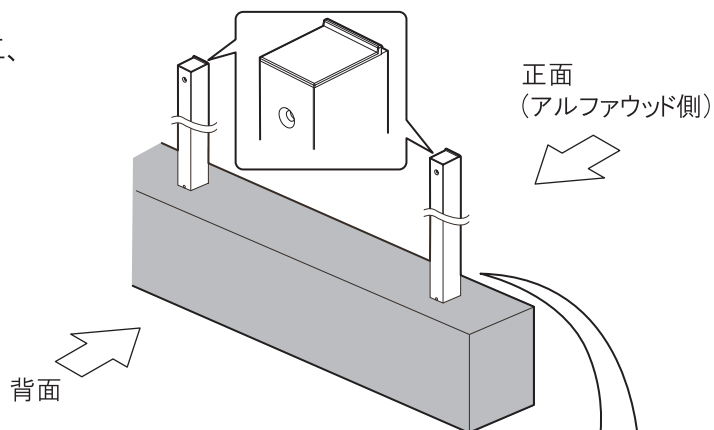


図は1型 T8の場合

B 標準施工方法

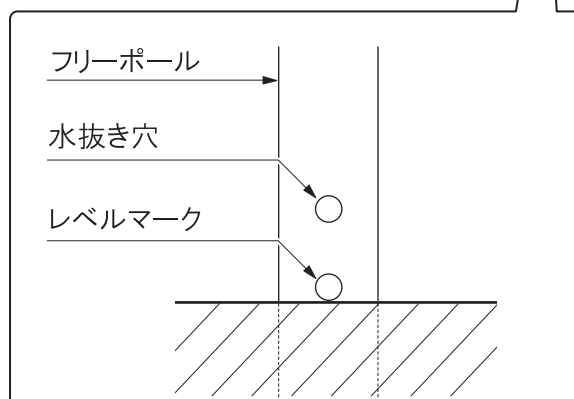
1 フリーポールの施工

各フリーポールを基本寸法図に従って施工、モルタルで固定してください。



⚠ 注意

- フリーポールを施工する際は水抜き穴をふさがないでください。内部に水がたまると凍結時にフリーポールが破裂する恐れがあります。
- フリーポールは垂直に施工してください。各フリーポールの最上部は高さを揃えてください。



2 パネルの取付

注意

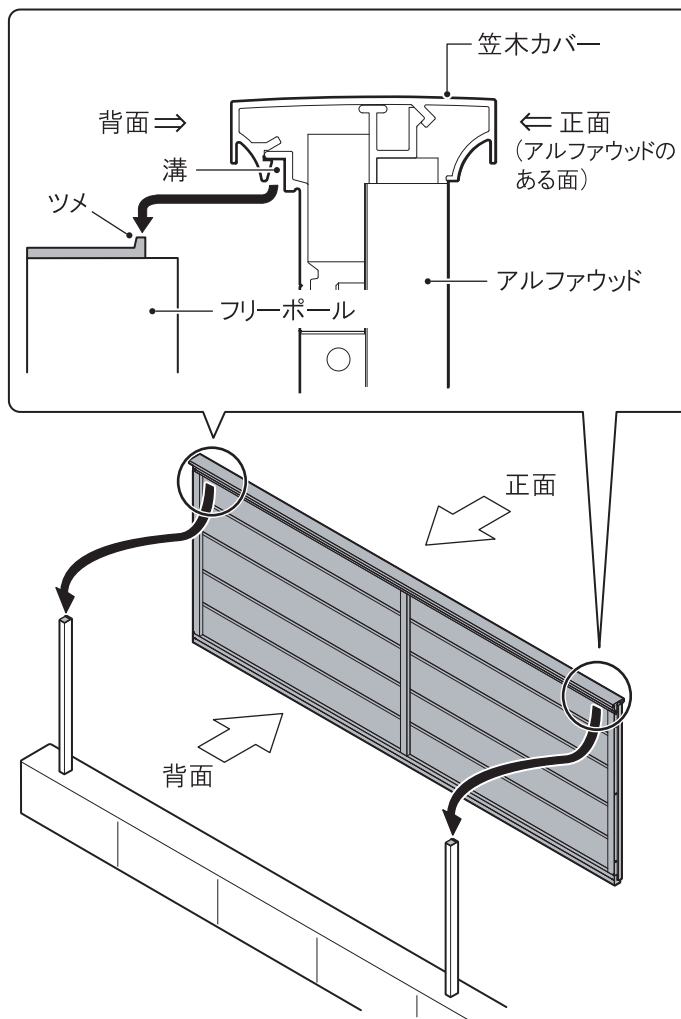


・コーナーカバーを取付ける際は、取付の手順が異なります。詳しくは、P.6～P.9を参照してください。

また、コーナーカバーを取付けるパネルから先に位置決めをしてください。

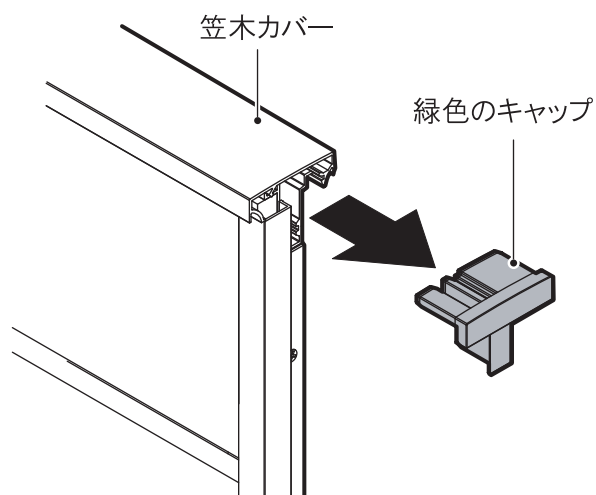
B

- 【1】** 笠木カバーの溝をフリーポール上部のツメに引掛けてください。

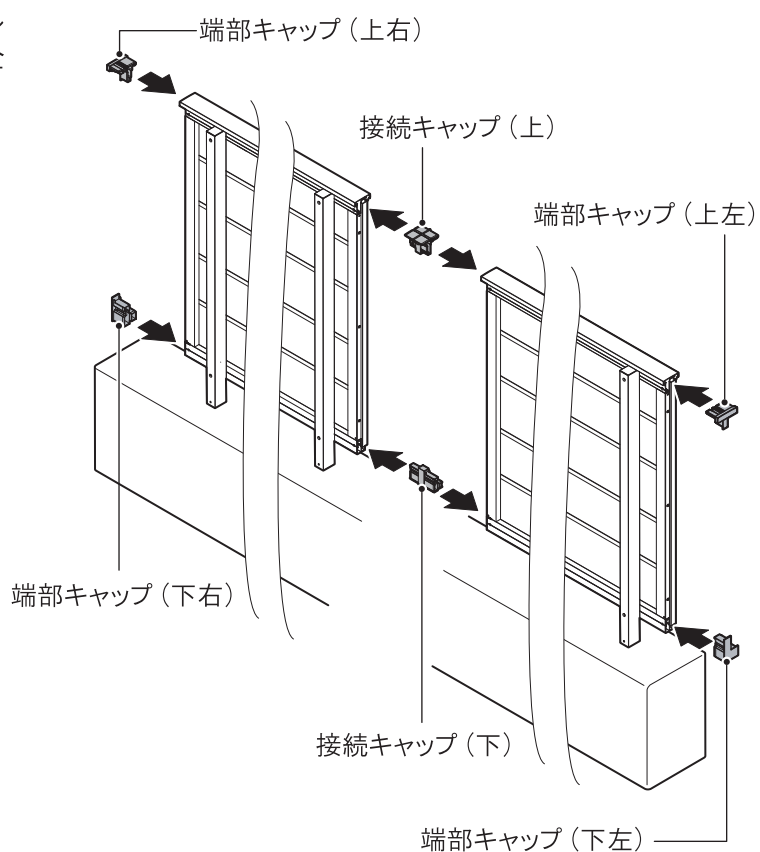
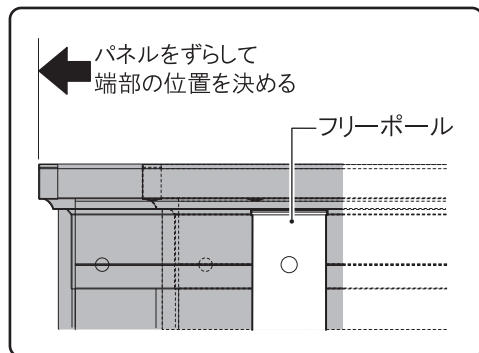


- 【2】** 笠木カバーにセットされている「緑色のキャップ」を外してください。

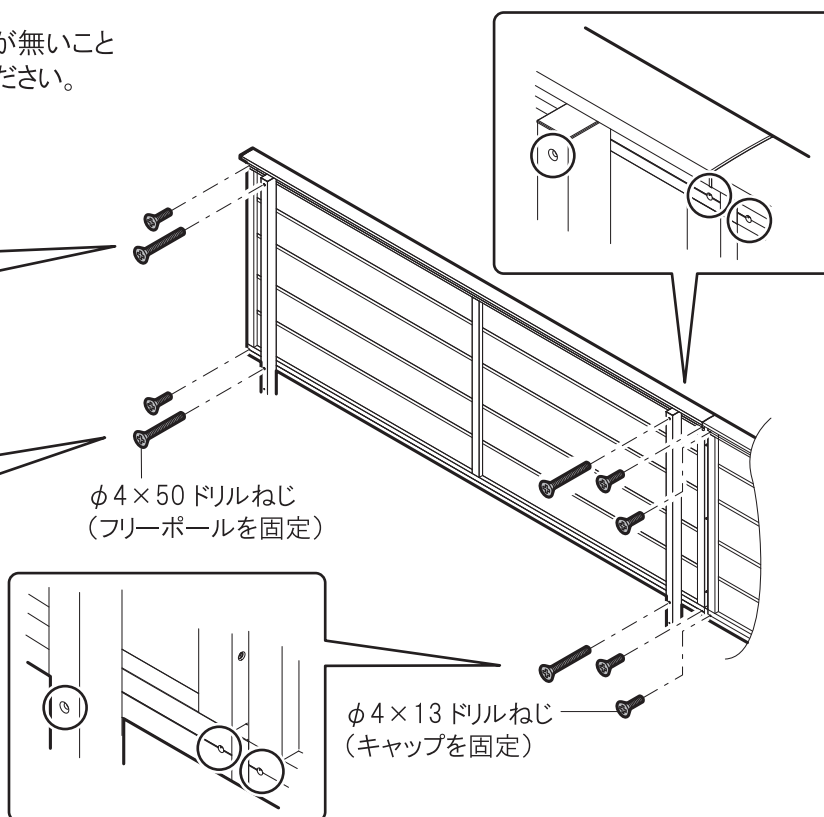
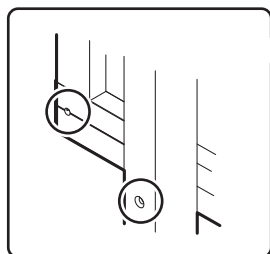
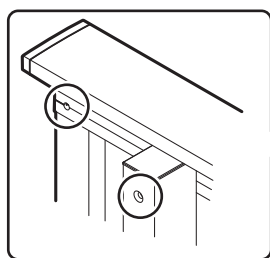
この部品は運搬中のはずれ止め用です。
外して処分してください。



- 【3】 端部キャップ、接続キャップをパネル
上下の棧に差し込みながらパネル全
体の位置を決めてください。



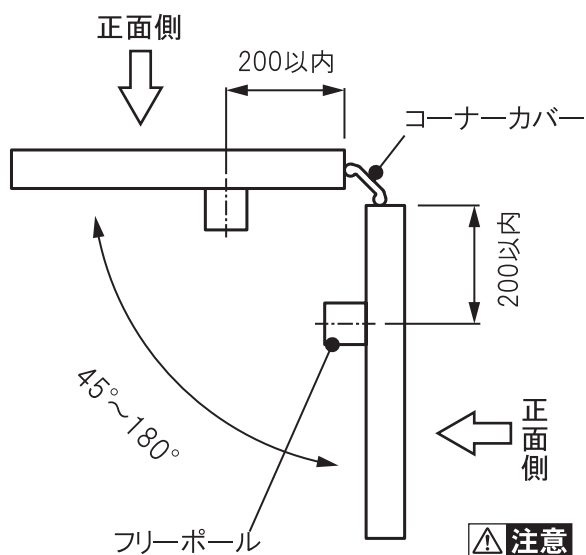
- 【4】 各パネル、キャップに隙間が無いこ
とを確認し、ねじで固定してください。



C コーナーカバーを使用する場合の施工方法

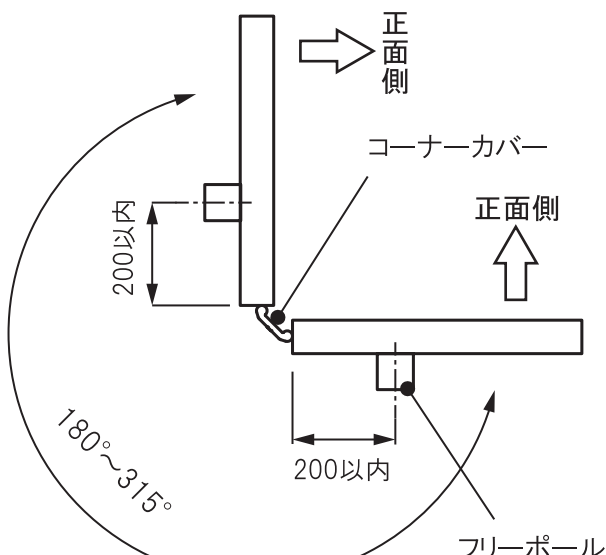
1 基本寸法図

●コーナー角度が45°～180°の場合



注意
角部には、フリーポールを必ず
2本建ててください。

●コーナー角度が180°～315°の場合

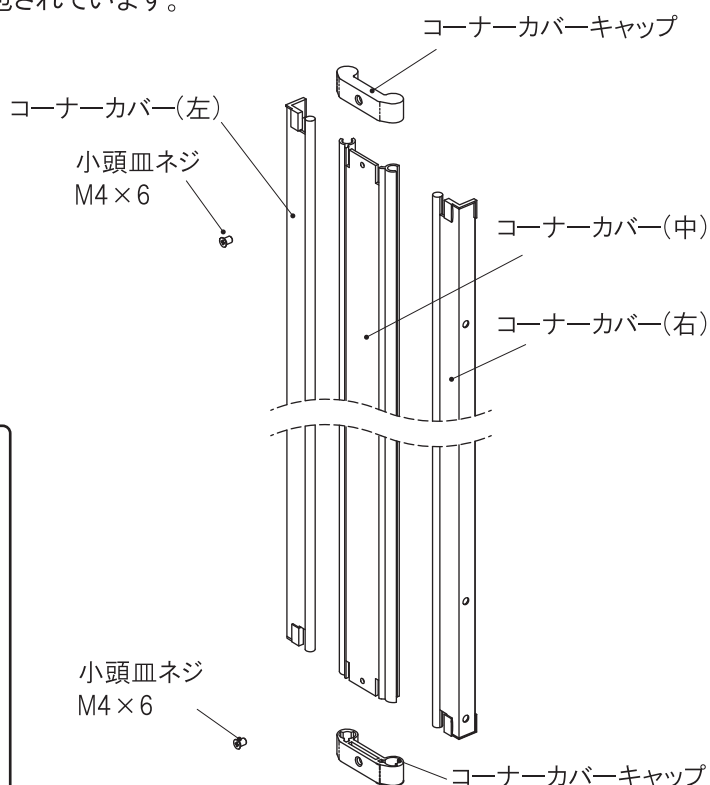
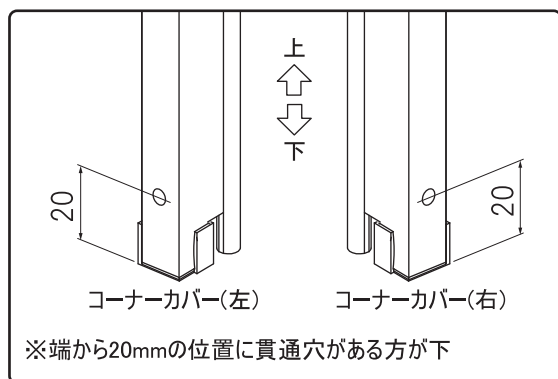


2 コーナーカバーの分解

コーナーカバーは、組み立てられた状態で梱包されています。
施工に際して、一旦分解してください。



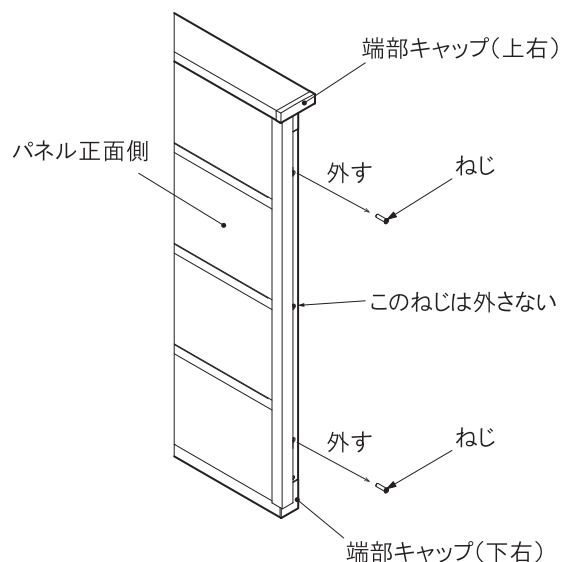
- 分解した部品を紛失しないように
注意してください。
- コーナーカバー(左)(右)には上下があります。
図を参考に、間違えないように取付けてください。



3 コーナーカバー(左)(右)の取付

【1】コーナーカバーを取付ける部分の緑色のキャップを抜き、端部キャップをあらかじめ挿入しておきます。

【2】コーナーカバーを取付ける部分の、上下二本のねじを外します。



正面

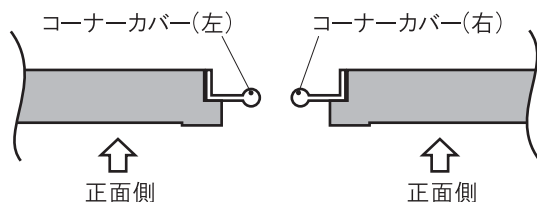
【3】3-【2】で外したねじを使い、コーナーカバー(左)(右)を取付けます。端から20mmの位置に目印用の穴が開いている方が下になるように取付けてください。

※右図はコーナーカバー(左)の場合です。

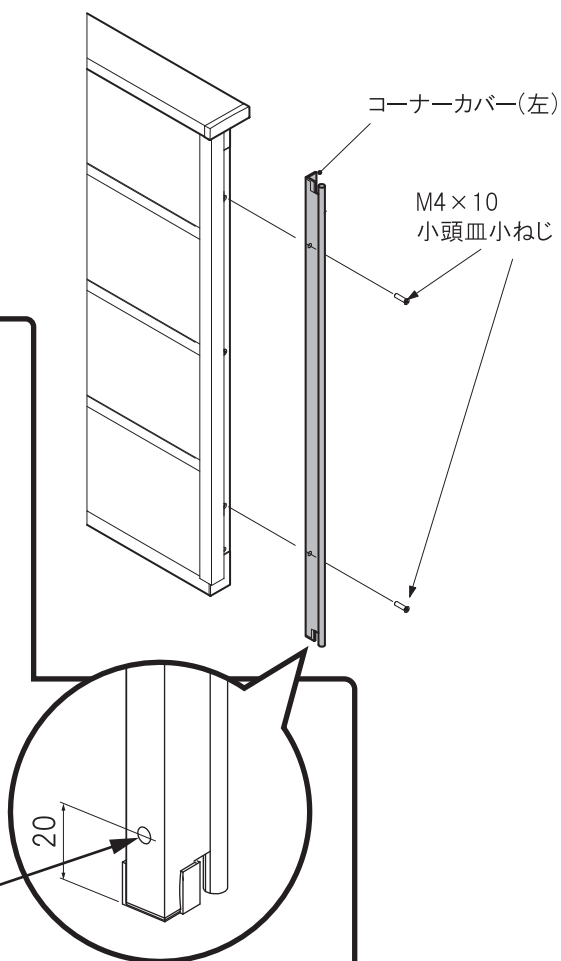
コーナーカバー(右)も同様に取付けてください。

※コーナーの角度にかかわらず、コーナーカバー(左)(右)の取付け位置、取付方向は下図の通りになります。

平面図

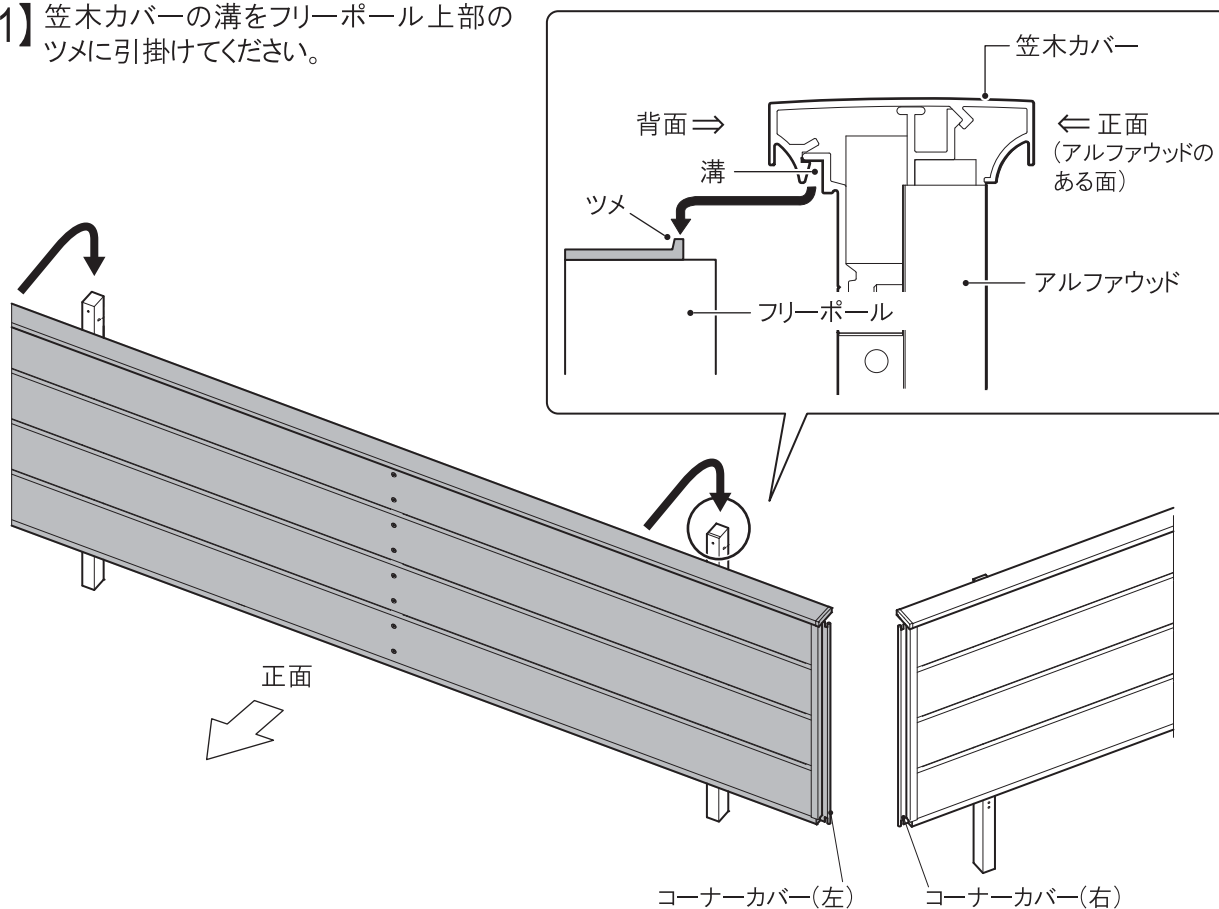


この穴がある方を下にして取り付けてください。

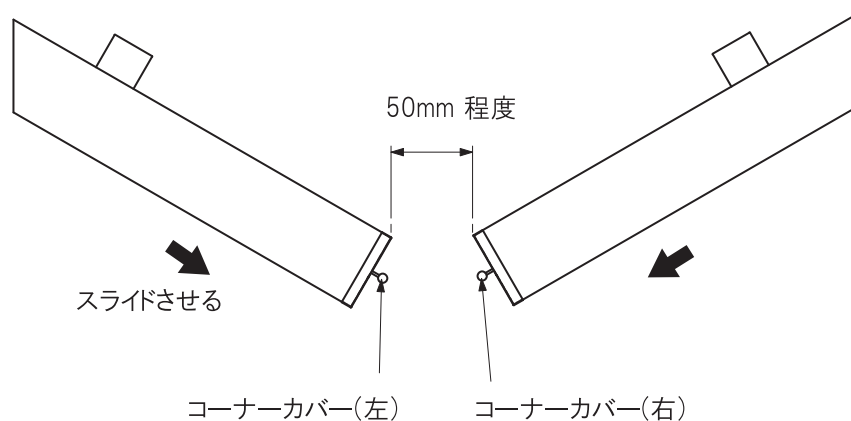


4 仮置きと位置調整

- 【1】 笠木カバーの溝をフリーポール上部のツメに引掛けてください。



- 【2】 フリーポールに引っ掛けた状態のまま、パネルをスライドさせ、パネル同士の距離が50mm程度になるまで近づけます。



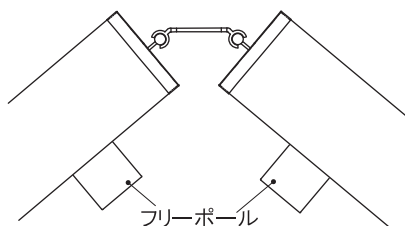
※図は、パネルが外側に向いている場合

5 コーナーカバー(中)とコーナーカバーキャップの取付

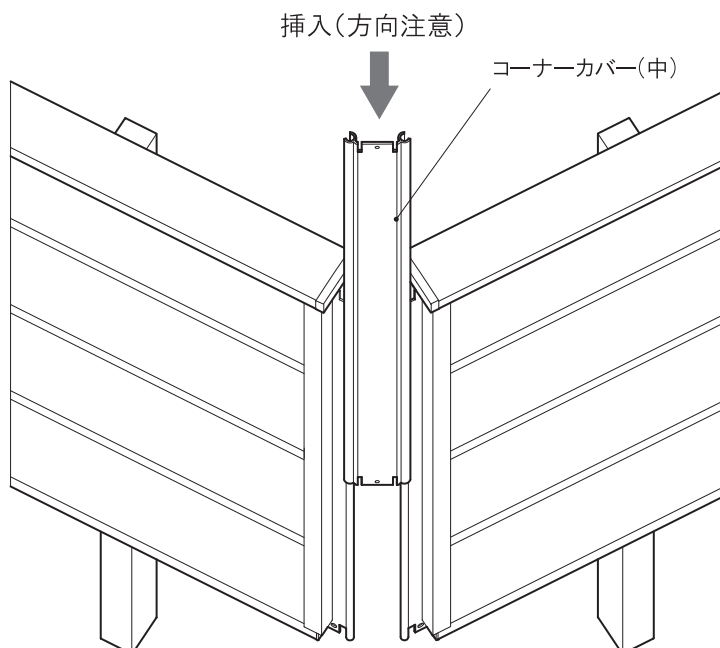
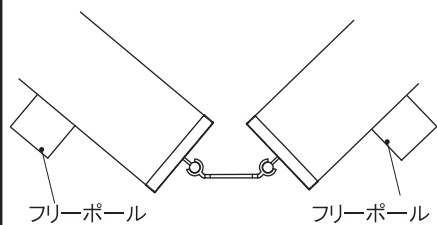
C

- 【1】** パネルの位置を調整しながら、コーナーカバー(中)を上から挿入します。
このとき、コーナーの角度によって、コーナーカバー(中)の向きが変わりますので、図を参考に間違えの無いように注意してください。

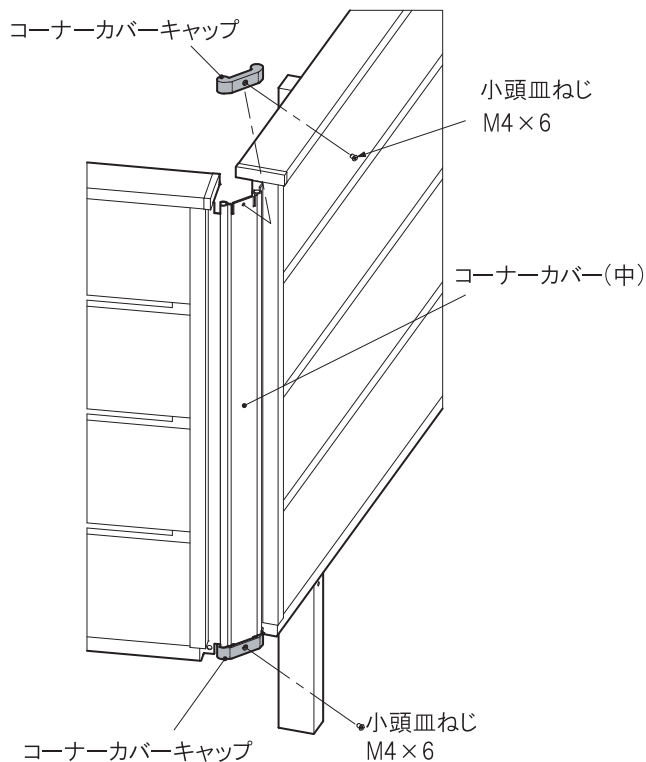
- コーナー角度が45°～180°の場合



- コーナー角度が180°～315°の場合



- 【2】** 皿ねじM4×10で、コーナーカバーキャップを取付けます。



- 【3】** P.5【3】【4】の説明に準じて、端部キャップ・フリーポールを固定します。

D パネルの切断方法

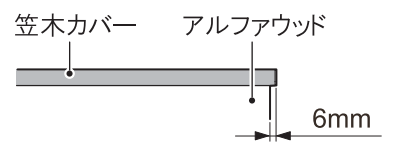
1 切断する前に

切断する位置を決めてください。

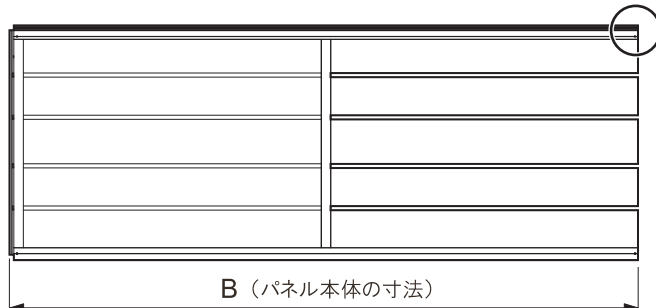
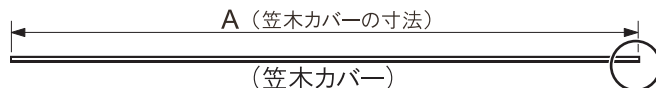
笠木カバーは、パネル本体の寸法より『6mm』長くしてください。



$$B=A-6\text{mm}$$



パネルと笠木は切断する寸法が同じではありません。必ず笠木を外して別々に切断してください。



縦棧・端部カバーがついていること
(⇒P11参照)

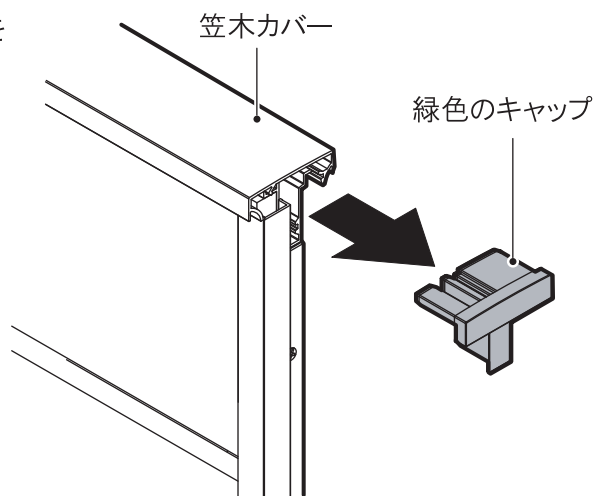


縦棧・端部カバーを外した状態
(⇒P11参照)

2 笠木の切断

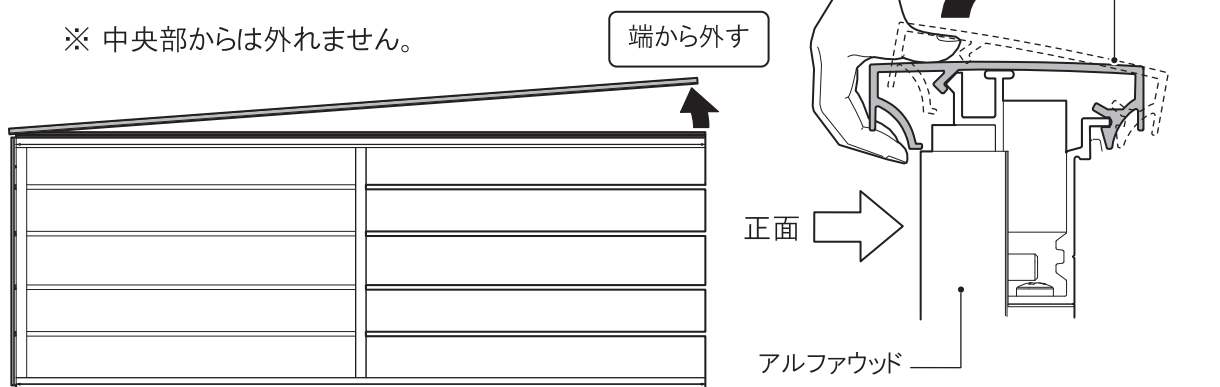
- 【1】 笠木カバーにセットされている「緑色のキャップ」を外してください。

この部品は運搬中のはずれ止め用です。
外して処分してください。



- 【2】 笠木カバーを外します。
笠木カバーの端をねじるように回すと
笠木カバーが外れます。

※ 中央部からは外れません。



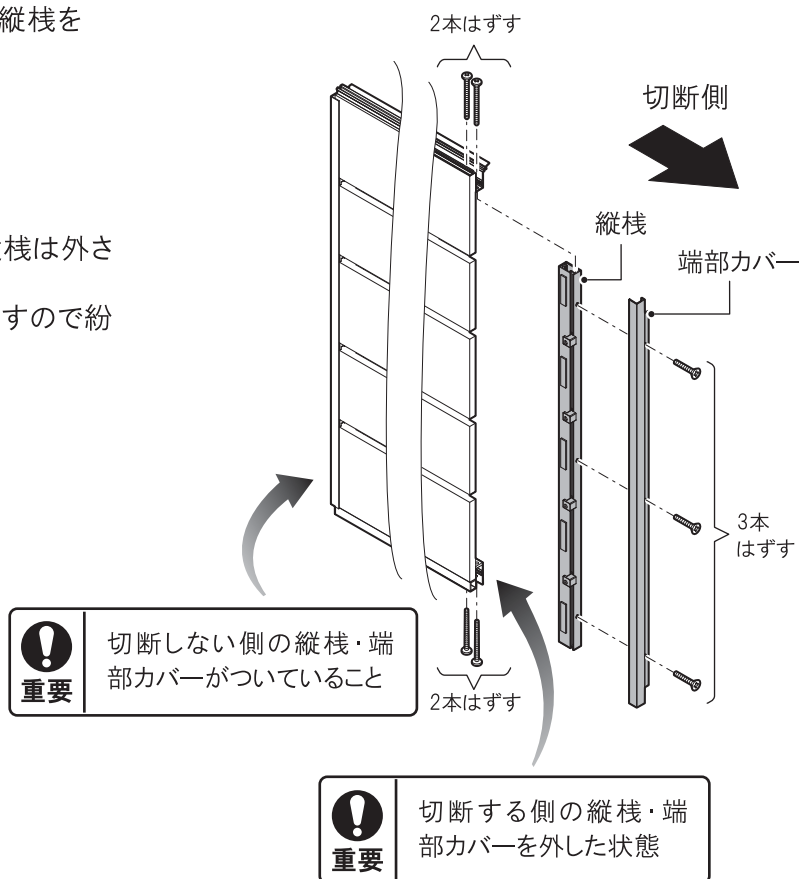
- 【3】 笠木カバーを切断します。

3 パネル本体の切断

- 【1】 切断する側の端部カバーと縦棧を
外してください。

⚠ 注意

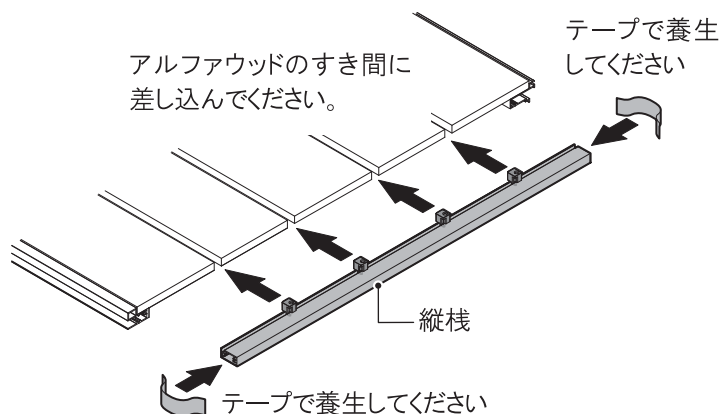
- 切断しない側の端部カバーと縦棧は外さないでください。
外したねじは組み立てに使用しますので紛失しないようにしてください。



【2】 パネルを切断します。

縦^{シク}棧は治具として使用します。縦棧と直線定木(木材など)をクランプで固定して丸ノコで切断してください。丸ノコの刃は適切なものを使用してください。

- ・推奨する刃
マルチ切断用刃(アルミ、樹脂共切断可能な刃)

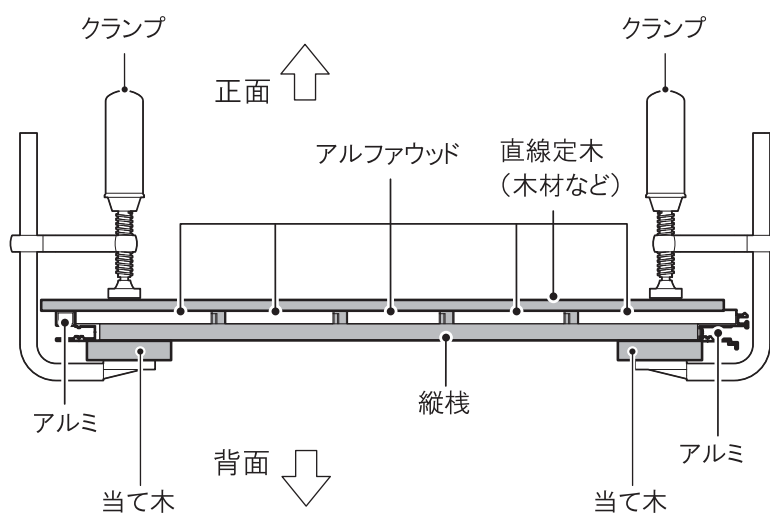
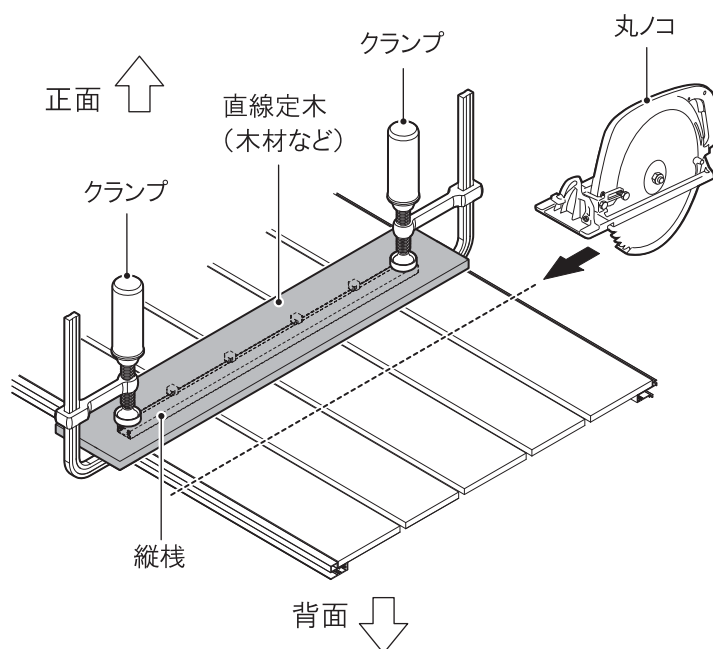


⚠ 注意

- 木工用やアルミ用の刃で切断するとアルファウッドが欠ける場合があります。



十分に固定されていない状態で切断するとケガをするおそれがありますので、確実に固定してください。

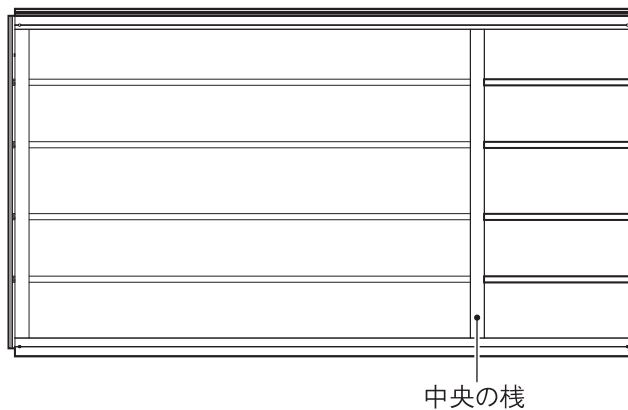



E パネルの組み立て

1 組み立てる前に

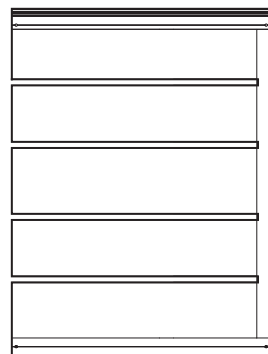
切断した後の形状によって組み立て方法が変わります。

[パネルの中央の縦棧が残っている場合]



 P14 2 パネル組み立て①へ

[パネルに中央の縦棧が無い場合]

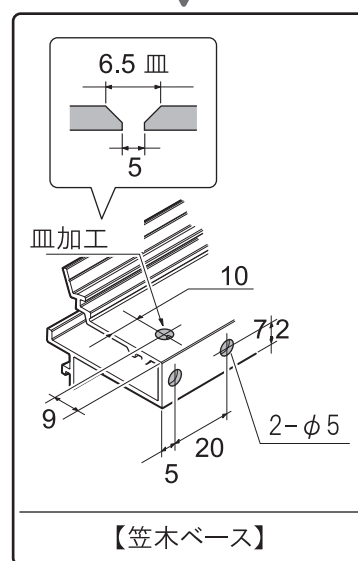
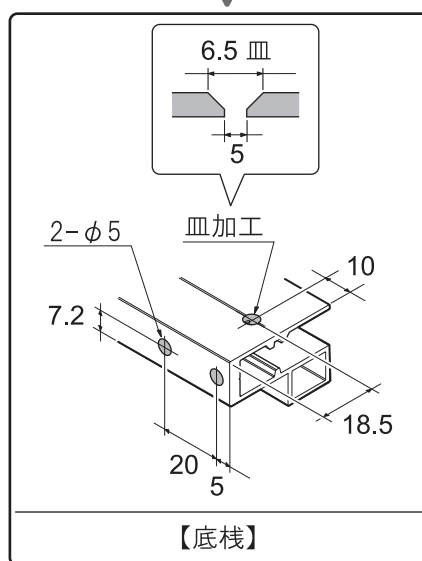
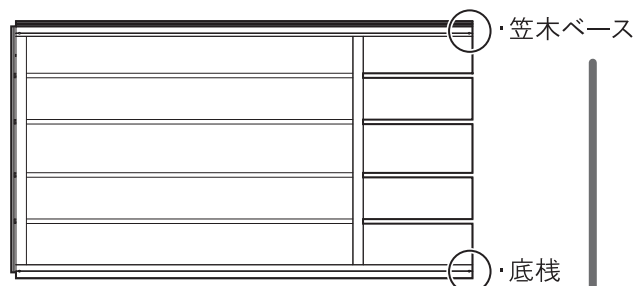


 P16 3 パネル組み立て②へ

2 パネルの組み立て ① (パネルの中央の縦棧が残っている場合)

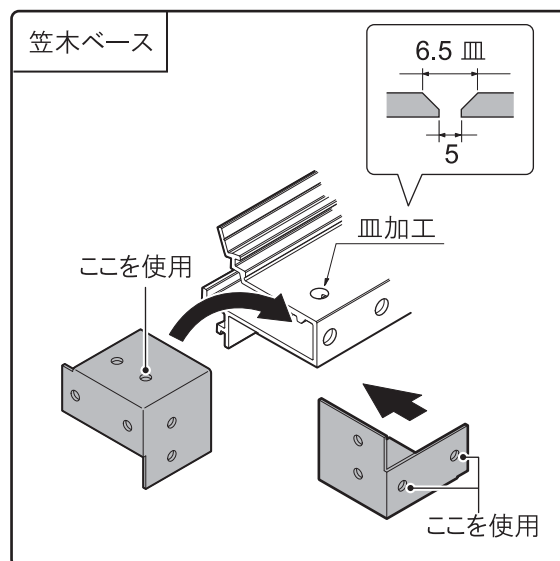
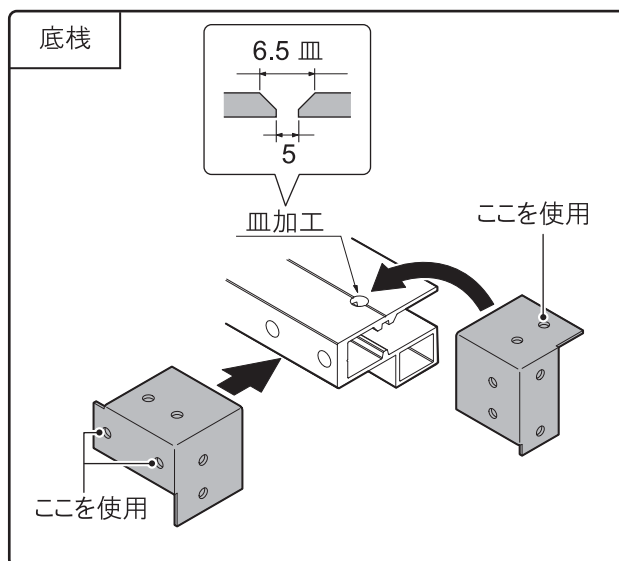
【1】切断した側の底棧、笠木ベースに右下図の寸法で穴加工します。

・笠木ベース	φ5穴 2ヶ所 φ5穴+皿 1ヶ所
・底棧	φ5穴 2ヶ所 φ5穴+皿 1ヶ所

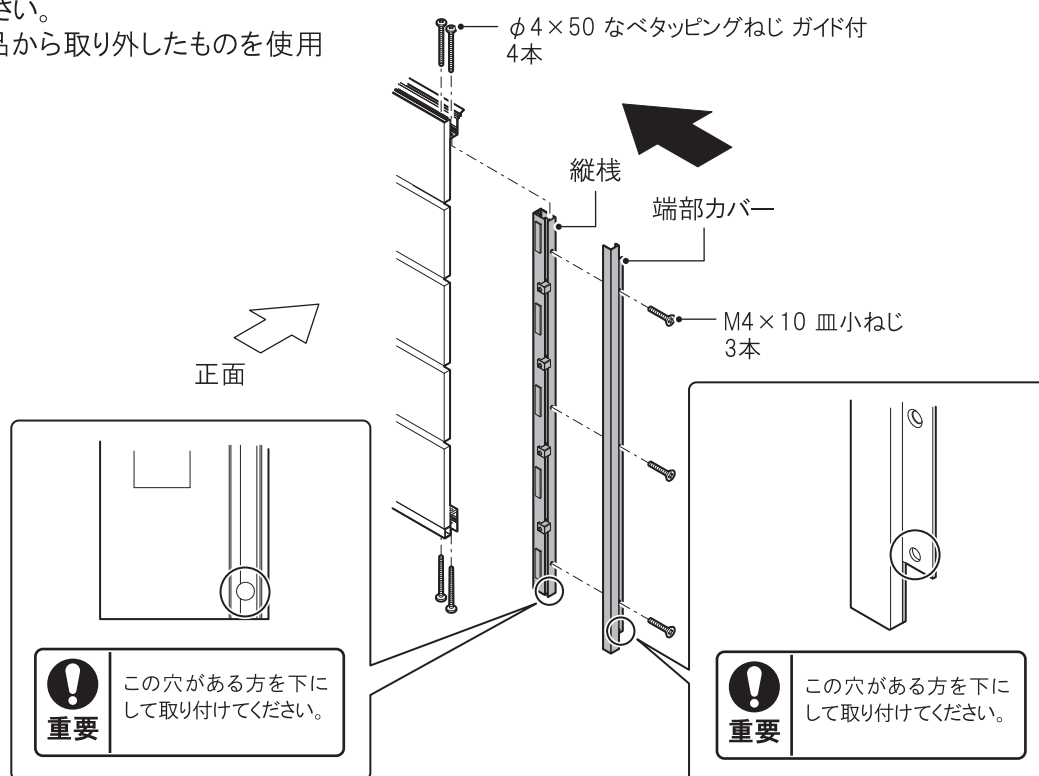


別売の治具^{シグ}を使用すると簡単に寸法出しが行えます。
穴加工は、まずφ3.2の穴を開けた後φ5のキリで穴を広げてください。

治具^{シグ}を使用する場合



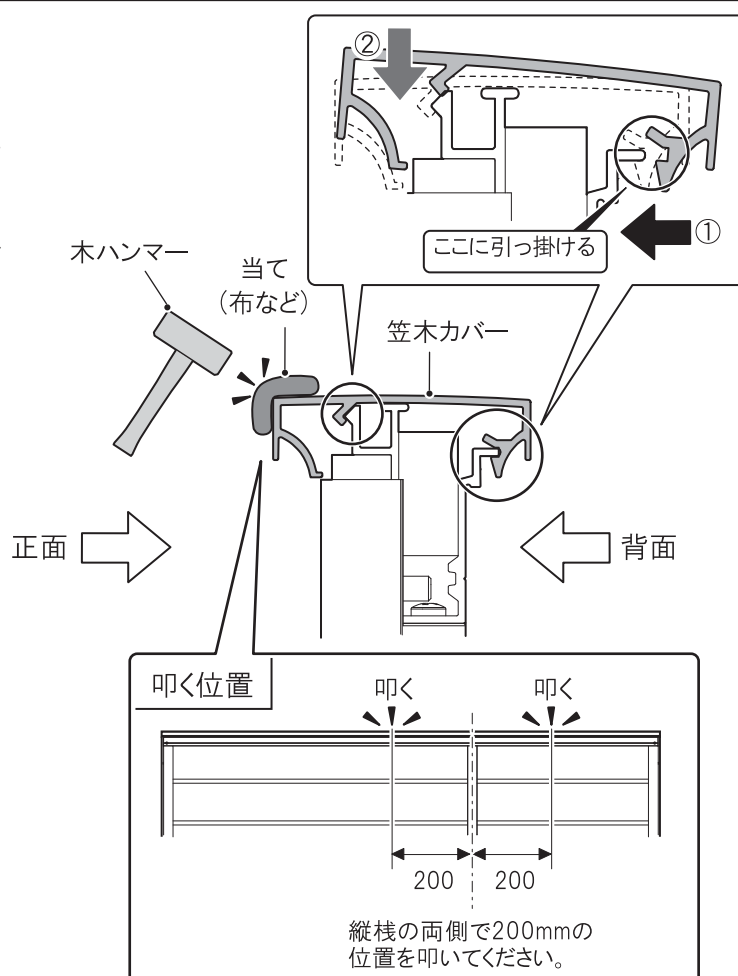
- 【2】 縦棧・端部カバーの順で部品を組み立ててください。
ねじは製品から取り外したものを使用します。



- 【3】 笠木カバーを組み立ててください。

笠木カバーは、①背面側を引っ掛けてから、②正面側をはめこみます。

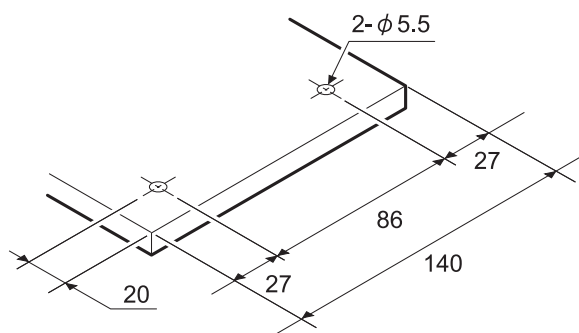
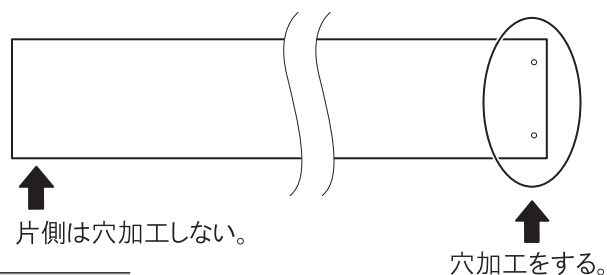
笠木カバーにキズがつかないように布などを当てた上から、木ハンマーで当てる上から叩いて取り付けてください。



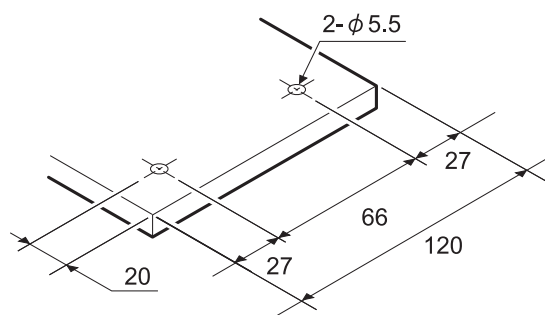
3 パネルの組み立て ② (パネルの中央に縦桟がない場合)

- 【1】アルファウツドの加工。
切断したパネルのアルファウツドに穴加工します。
加工するアルファウツドの枚数は下表のとおりです。

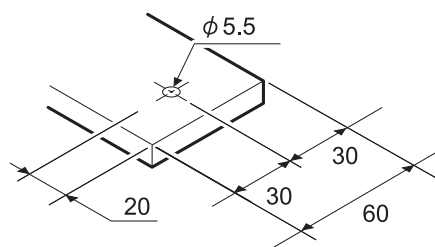
サイズ	幅 (単位:mm)		
T10	1型 : 140×6枚		
T8	140×3枚	140×1枚	180×2枚
	1型 : 120×2枚	2型 : 120×1枚 60×6枚	3型 : 120×2枚 60×1枚
T6	1型 : 120×4枚		



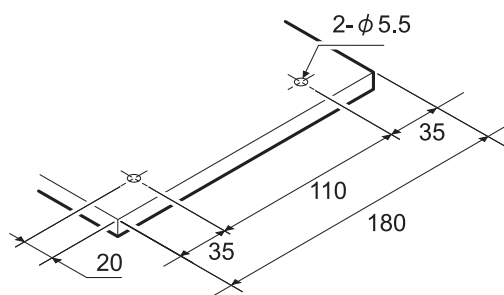
アルファウツドの幅 140mmの場合



アルファウツドの幅 120mmの場合



アルファウツドの幅 60mmの場合

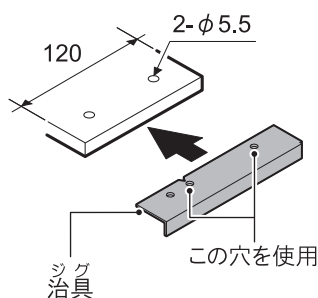


アルファウツドの幅 180mmの場合

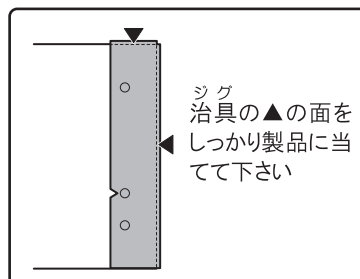
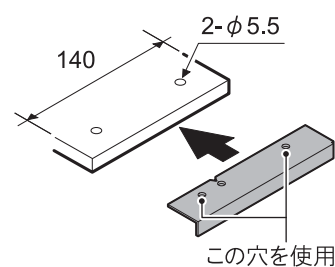
別売の^{シグ}治具を使用すると簡単に寸法出しが行えます。
(幅60mm、180mmには対応していません)

^{シグ}治具を使用する場合

アルファウツドの幅
120mmの場合



アルファウツドの幅
140mmの場合



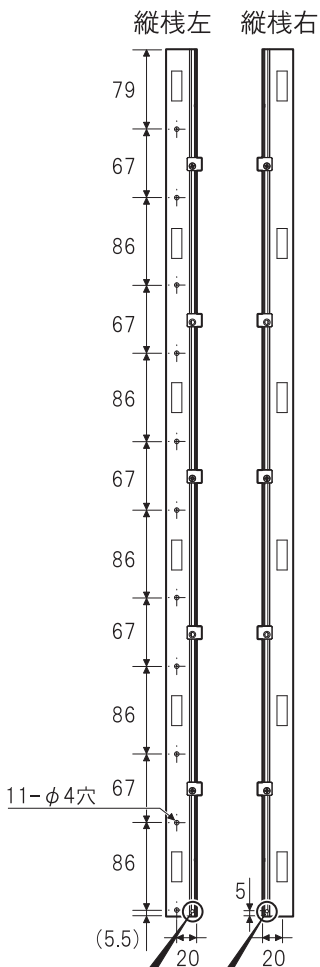
【2】縦棧の加工

縦棧右、もしくは左どちらかに穴加工します。

※ 図は縦棧左に穴を開けた場合

T10

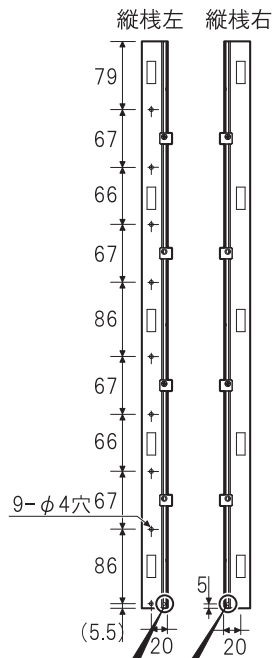
1型



重要
穴のある方が
下側

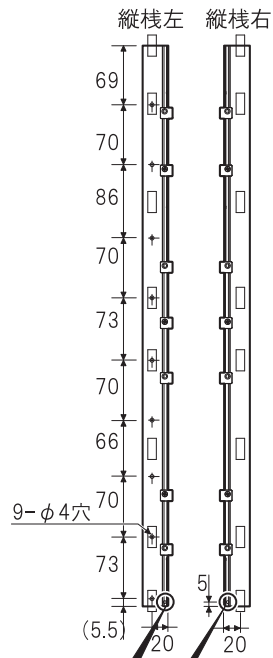
T8

1型



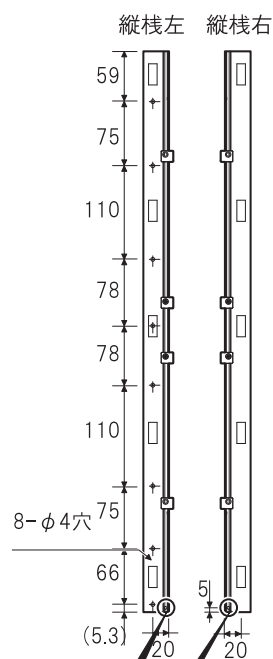
重要
穴のある方が
下側

2型



重要
穴のある方が
下側

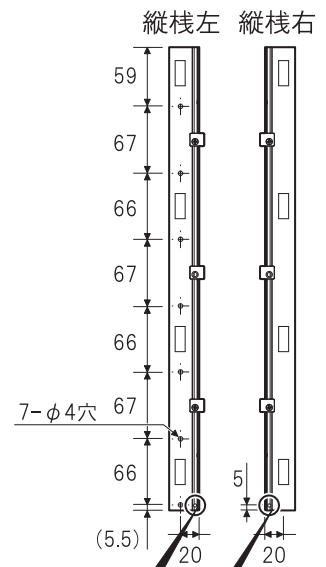
3型



重要
穴のある方が
下側

T6

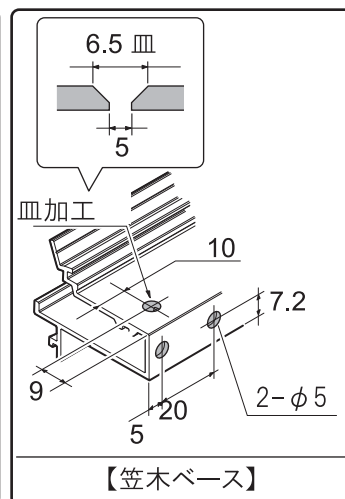
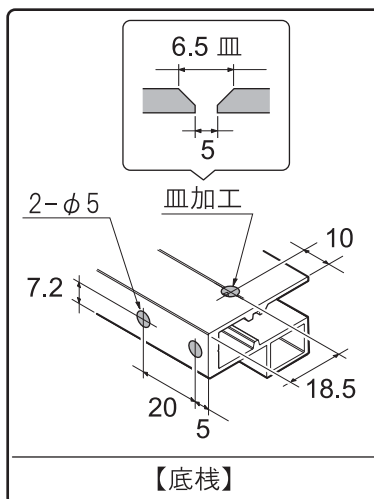
1型



重要
穴のある方が
下側

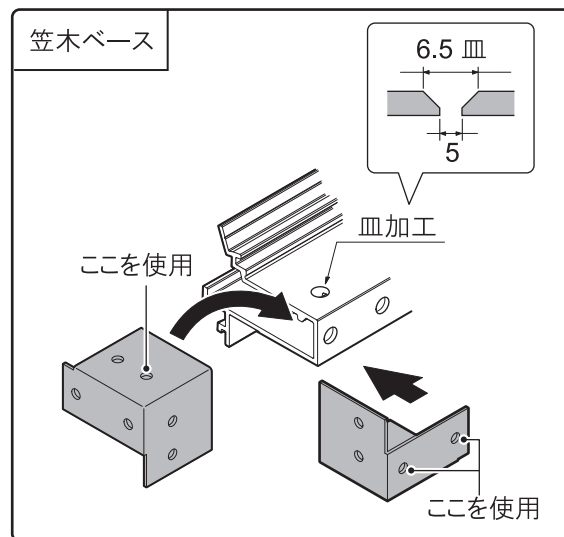
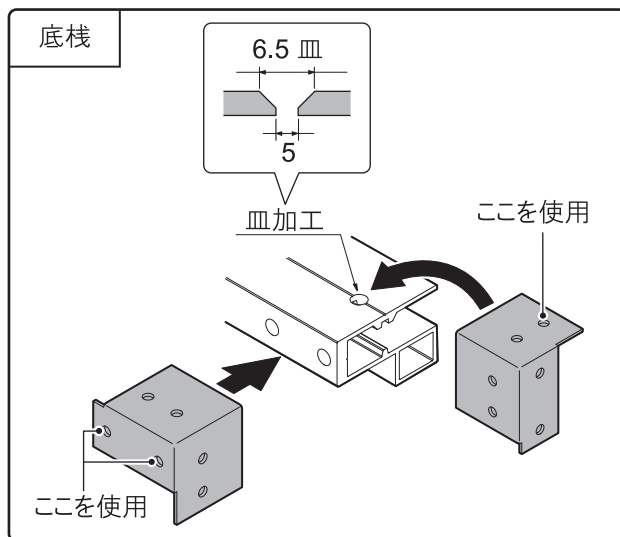
【3】 切断した側の底棧、笠木ベースに
右図の寸法で穴加工します。

・笠木ベース	$\phi 5$ 穴 2ヶ所 $\phi 5$ 穴+皿 1ヶ所
・底棧	$\phi 5$ 穴 2ヶ所 $\phi 5$ 穴+皿 1ヶ所

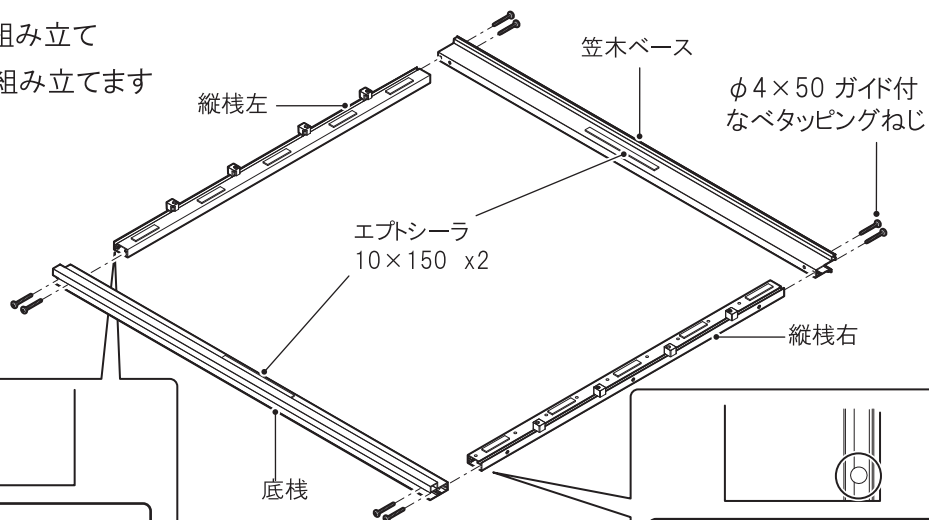
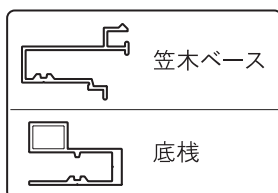


別売の^{シグ}治具を使用すると簡単に寸法出しが行えます。
穴加工は、まず $\phi 3.2$ の穴を開けた後 $\phi 5$ のキリで穴を広げてください。

・^{シグ}治具を使用する場合



【4】 アルミフレームの組み立て
・加工した部材を組み立てます



この穴がある方を下にして取り付けてください。



この穴がある方を下にして取り付けてください。

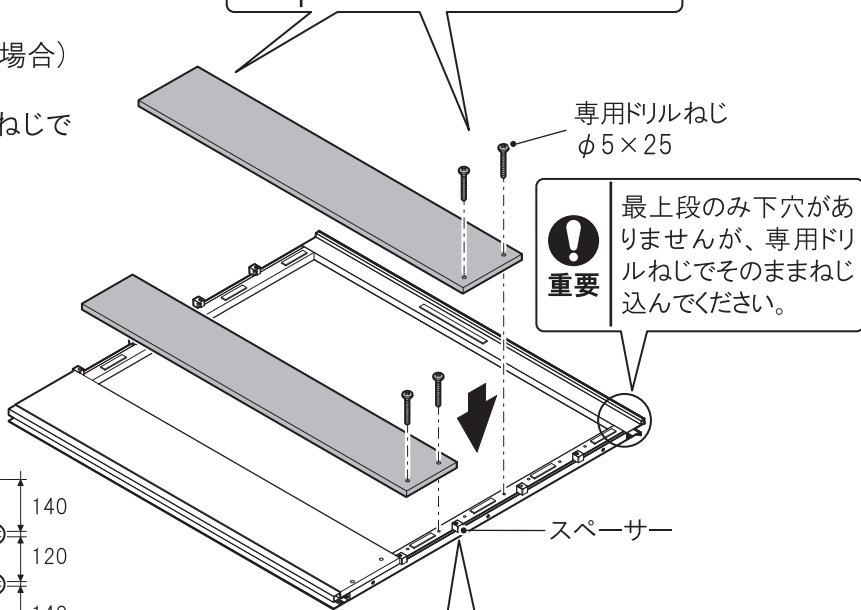
【5】アルファウツの組み立て

スペーサーをアルファウツの間に
取り付けます。
(スペーサーが付いていない場合)

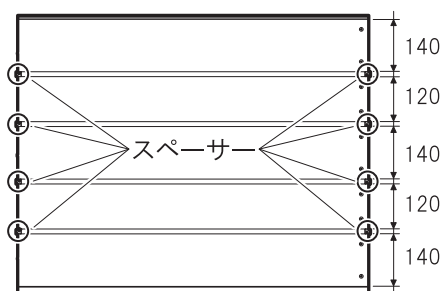
アルファウツを専用ドリルねじで
取り付けます。



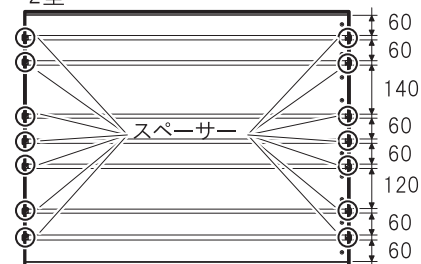
アルファウツは決して、両側を
固定しないでください。



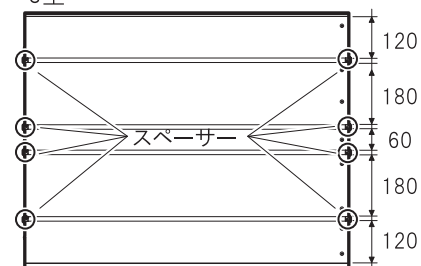
T8 1型



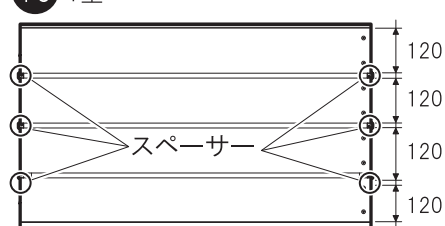
2型



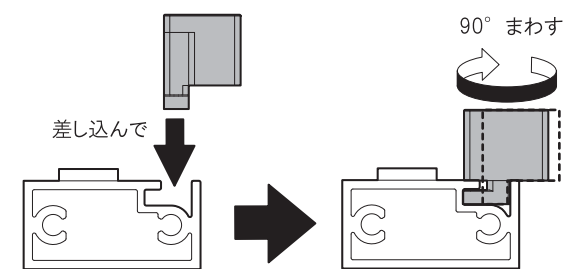
3型



T6 1型



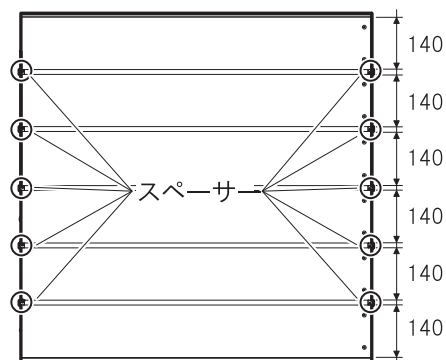
スペーサーの取り付け方



⚠ 注意

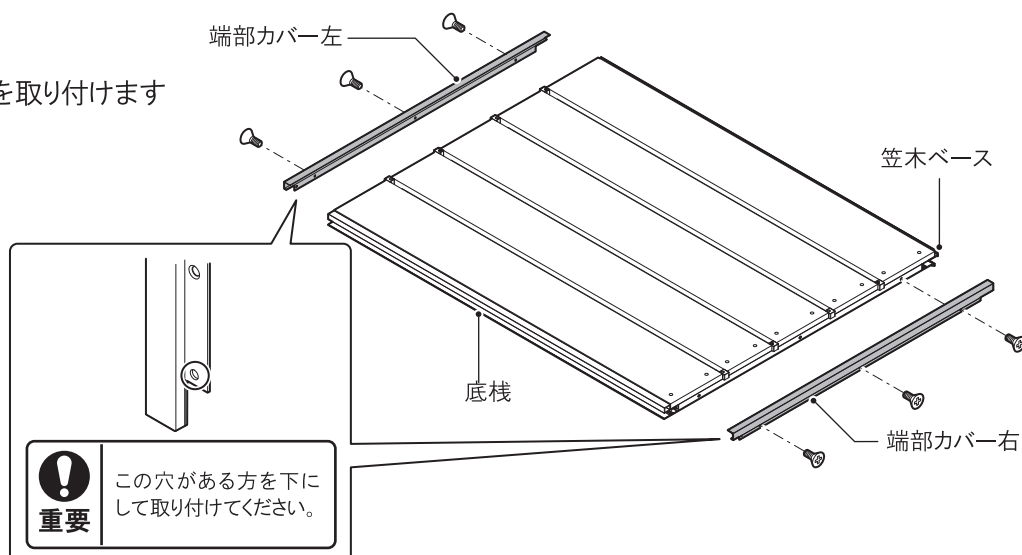
- T8のみ数種類の幅のアルファウツを使用
しています。
取り付ける順序に気をつけてください。

T10 1型



【6】組み立て

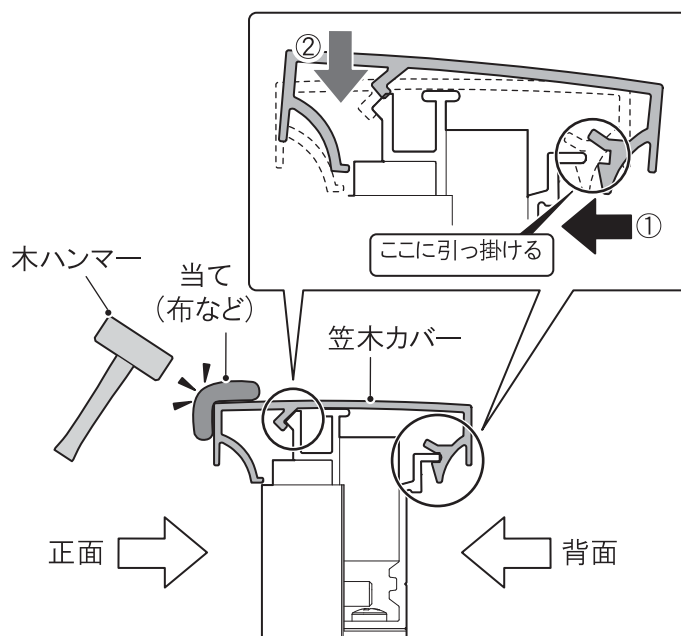
・端部カバーを取り付けます



【7】笠木カバーを組み立ててください。

笠木カバーは、①背面側を引っ掛けてから、②正面側をはめこみます。

笠木カバーにキズがつかないように布などを当てた上から、木ハンマーで当てる上から叩いて取り付けてください。

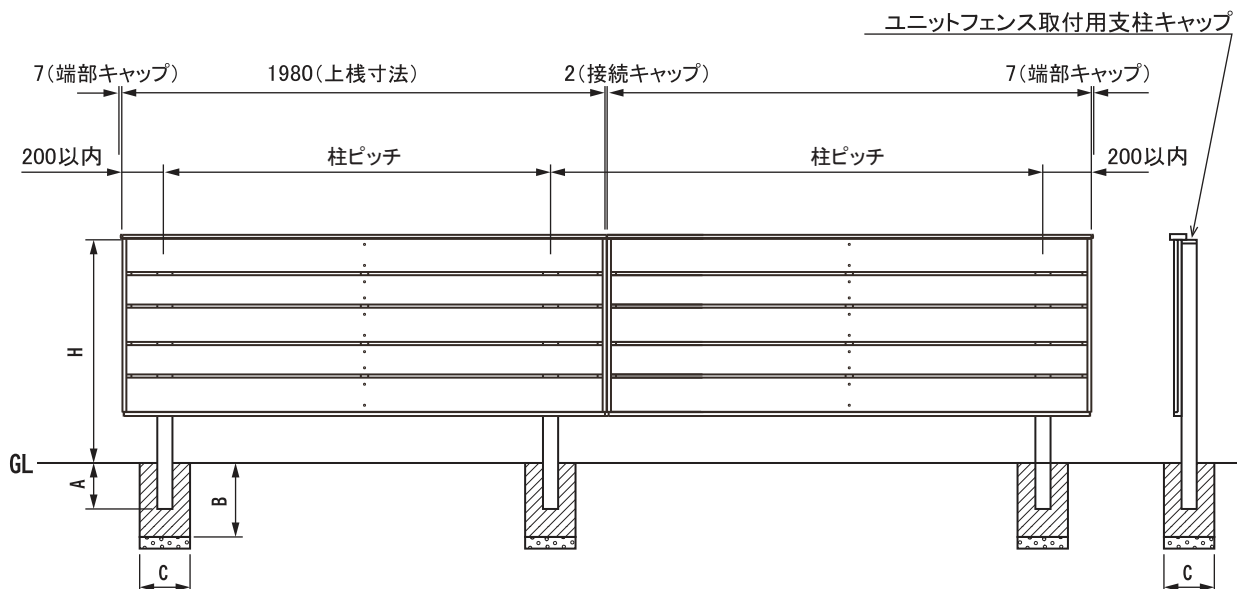


F アルファウッド支柱に施工する場合

1 施工寸法図

「ユニットフェンス取付用支柱キャップ」を使用して、アルファウッド支柱60×60または70×70にユニットフェンスのパネルを取付けることができます。下図の寸法を守って施工してください。

また、施工寸法表を参考に、規定の高さを超えないようにしてください。

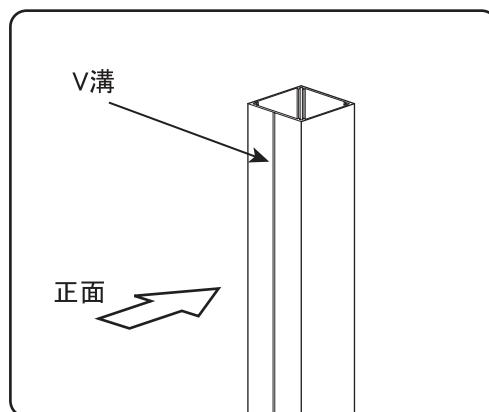


施工寸法表 ※Hは支柱高さ

取付可能な 支柱サイズ	アルファウッド支柱 70×70								
	アルファウッド支柱 60×60								
柱ピッチ (mm)	2,000以内			2,000以内			1,000以内		
H寸法 (mm)	800	1,000	1,200	1,400	1,600	1,700	1,800	2,000	2,200
A寸法 (mm)	300	300	300	300	350	350	350	350	400
B寸法 (mm)	300	300	350	350	400	450	450	450	450
C寸法 (mm)	200	300	300	350	400	400	400	450	500

⚠ 注意

- GLより30mm程度の位置に、φ6程度の水抜き穴を設けてください。内部に水がたまると凍結時に支柱が破裂する恐れがあります。
- 支柱は垂直に施工してください。
各支柱の最上部は高さを揃えてください。
- アルファウッド支柱には方向性があります。
V溝のある方を正面とし、キャップやパネルの取付時に取付方向を間違えないようにしてください。



以下の工程は、フェンス裏側から施工できる場合とできない場合とで施工方法が変わります。
現場環境に適した説明を参照してください。

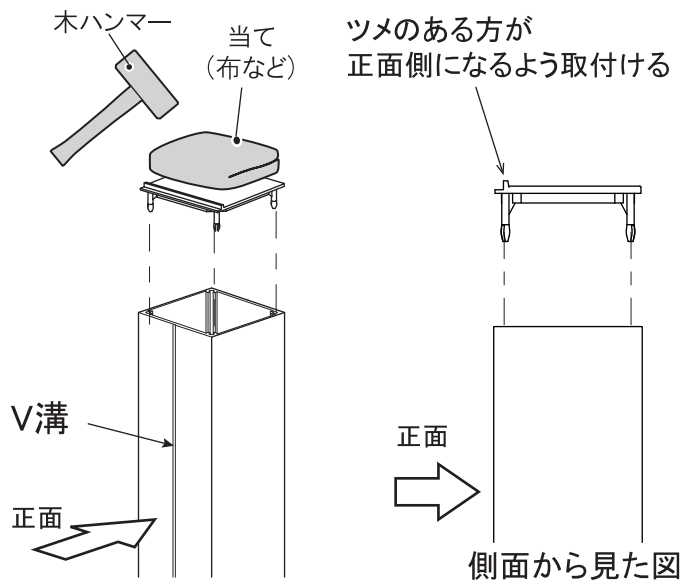
2 支柱の施工

- 【1】パネルを取付けるすべてのアルファウ
ッド支柱のあらかじめキャップがついて
いない側に、ユニットフェンス取付用
支柱キャップを取付けます。

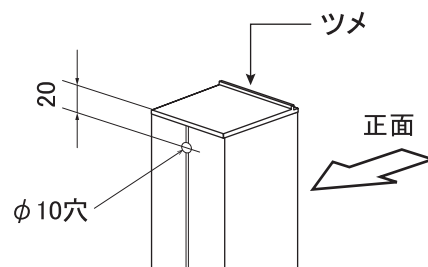
V溝のある方を正面として、ツメのある
方が正面側になるように取付けてくだ
さい。

⚠ 注意

無理に力を加えて取付けようとすると、キ
ャップの脚部分が破損するおそれがありま
す。
柔らかい布などをあて、木ハンマー等で真
上から丁寧に叩いて入れてください。

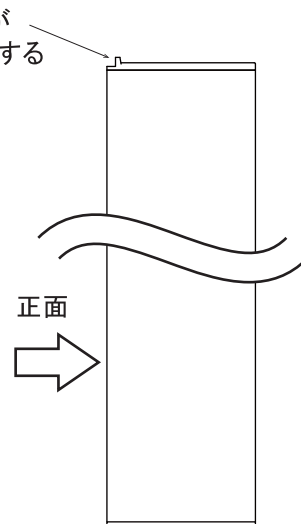


- 【2】フェンスの背面から施工できない場合、
支柱背面の図の位置にφ10の穴を開けてください。
フェンス背面から施工できる場合は、この手順は不要
です。



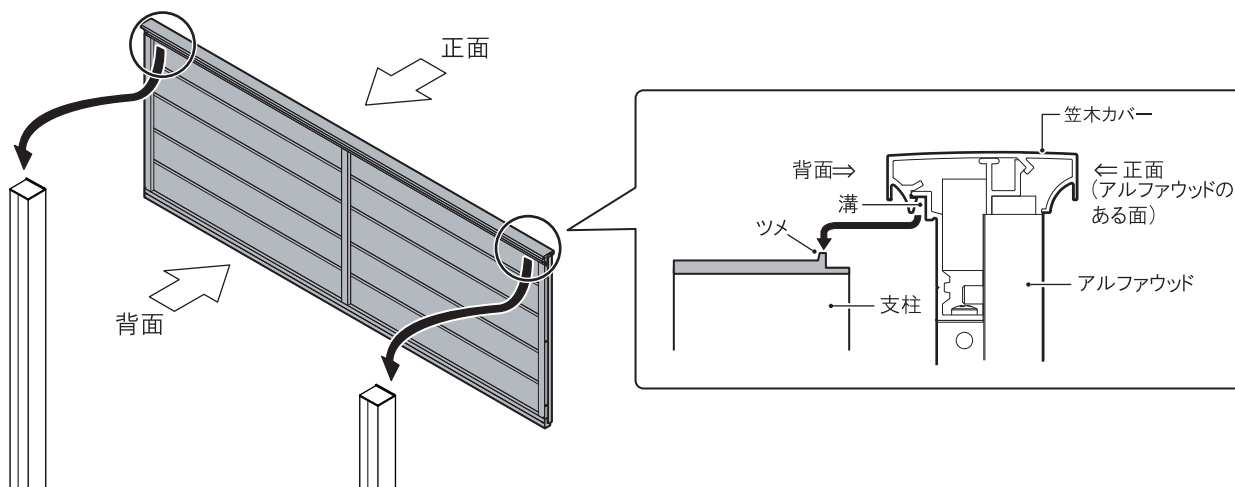
- 【3】施工寸法図に従い、支柱を施工してください。
この際、【1】で取付けたユニットフェンス取付用支柱キャップが上側になるように注意してください。

ツメのあるキャップが
上になるように施工する



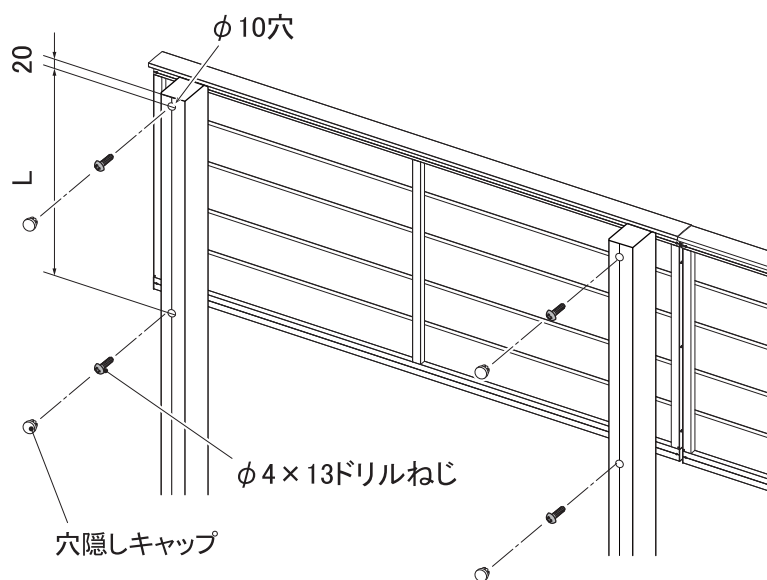
3-1 パネルの取付け 背面から施工できる場合(できない場合は3-2へ)

- 【1】 笠木カバーの溝を支柱キャップのツメに引掛けてください。



- 【2】 フリーポールへの施工時と同様に、緑の保護キャップを外し、端部キャップ・接続キャップを挿入して位置を決めてください。(P.4～5 参照) 位置が決定したら、それぞれのキャップを専用のねじで固定してください。

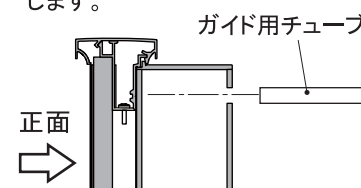
- 【3】 背面より、下図の位置に $\phi 10$ の穴を開け、その奥に $\phi 4 \times 13$ ドリルねじを打ち込んでパネルを固定します。その際、 $\phi 10$ 穴にガイド用チューブを挿入し、 $\phi 14 \times 13$ ドリルねじがドライバーから外れて落ちないようにしてください。
ねじを打ち終わったら、穴隠しキャップで $\phi 10$ 穴をふさいでください。



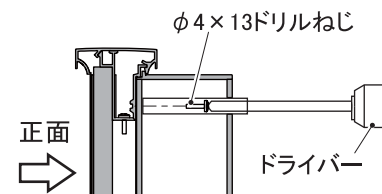
パネルサイズ	L寸法
T6	491
T8	684
T10	877

ガイド用チューブの使い方

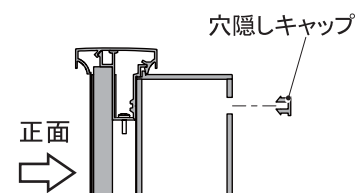
- ① $\phi 10$ 穴にガイド用チューブを挿入します。



- ② ガイド用チューブを通して、 $\phi 4 \times 13$ ドリルねじを打ち込みます。



- ③ ガイド用チューブを外し、穴隠しキャップを取付けます。



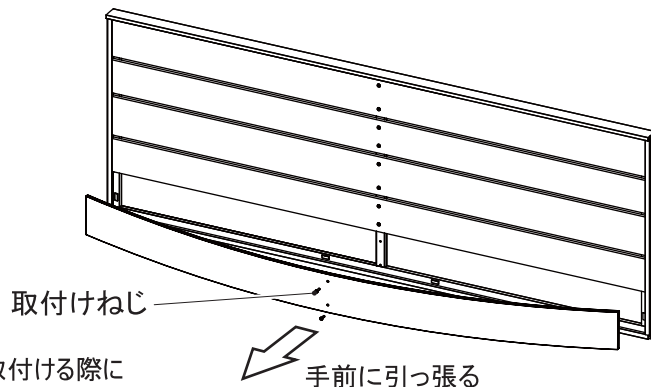
3-2 パネルの取付け 背面から施工できない場合

※パネルを切断して使用し、縦桟が無い場合は、この方法では施工できません。

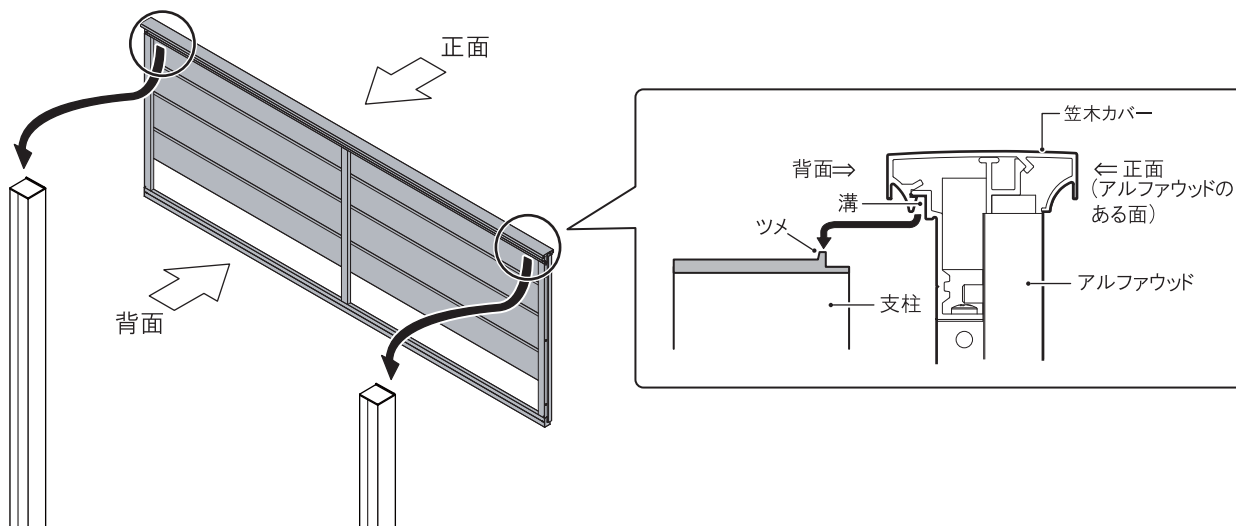
- 【1】 パネルの最下段のアルファウッドを一旦取り外します。
取付けねじを外し、中央部分を手前に引っ張ると取り外すことができます。

△ 注意

- 取付けねじは、後でアルファウッドを再度取付ける際に使用しますので、紛失しないように注意してください。



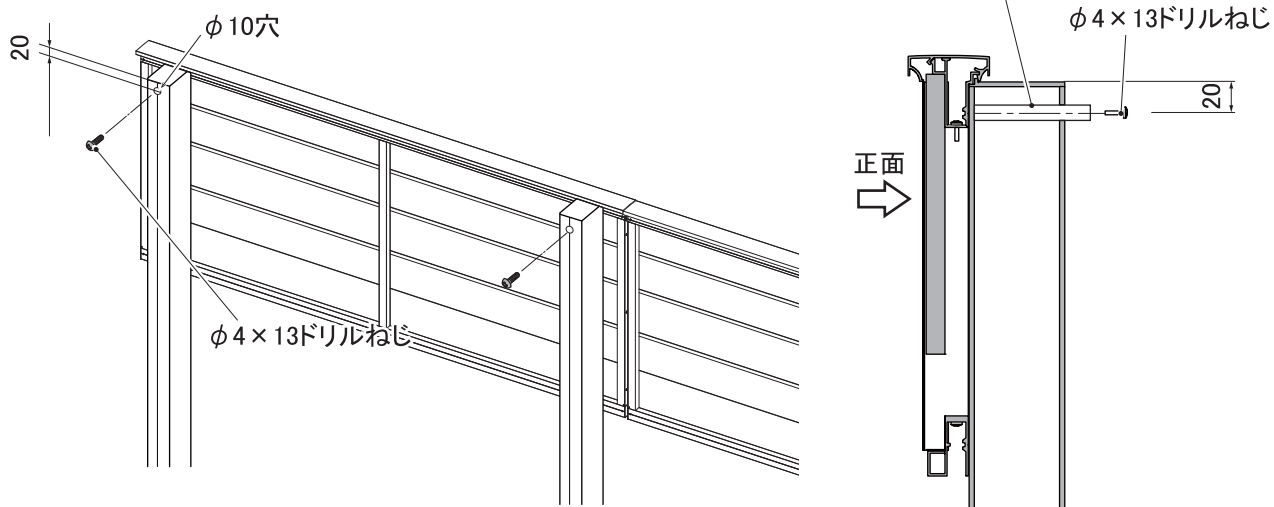
- 【2】 笠木カバーの溝を支柱キャップのツメに引掛けてください。



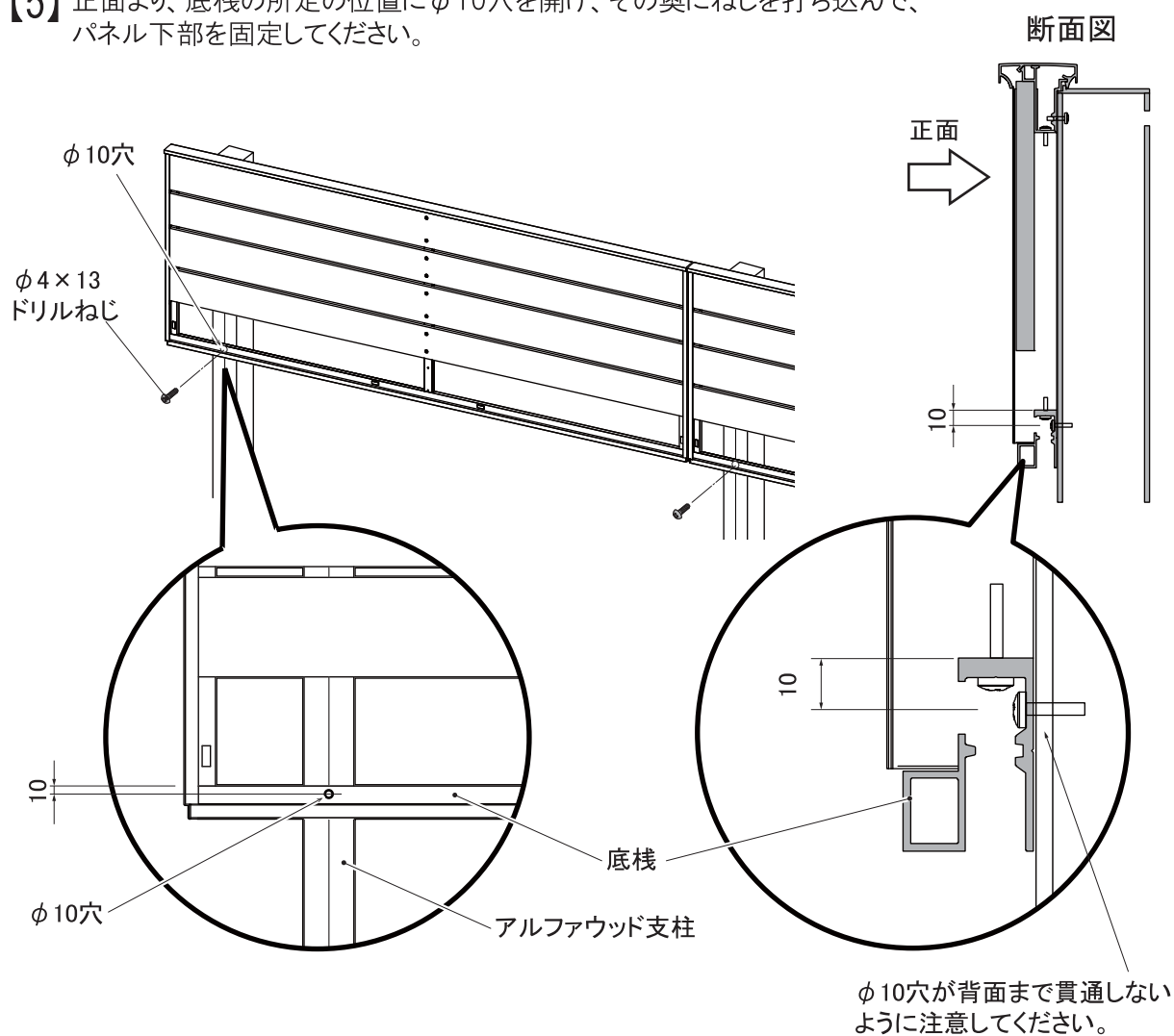
- 【3】 フリーポールへの施工時と同様に、緑の保護キャップを外し、端部キャップ・接続キャップを挿入して位置を決めてください。(P.4～5 参照)
位置が決定したら、それぞれのキャップを専用のねじで固定してください。

- 【4】 P.22、2-【2】で開けたφ10穴の奥に、ガイド用チューブを使ってφ4×13ドリルねじを打ち込み、パネル上部を固定してください。

ガイド用チューブ(ねじを打ちこんだ後取り外す)

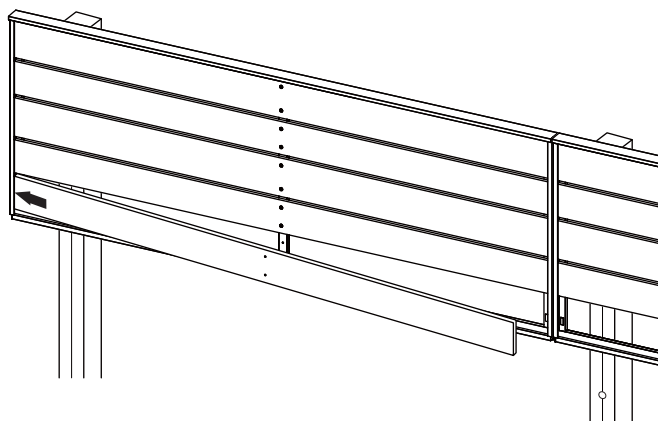


- 【5】 正面より、底棧の所定の位置にφ10穴を開け、その奥にねじを打ち込んで、パネル下部を固定してください。

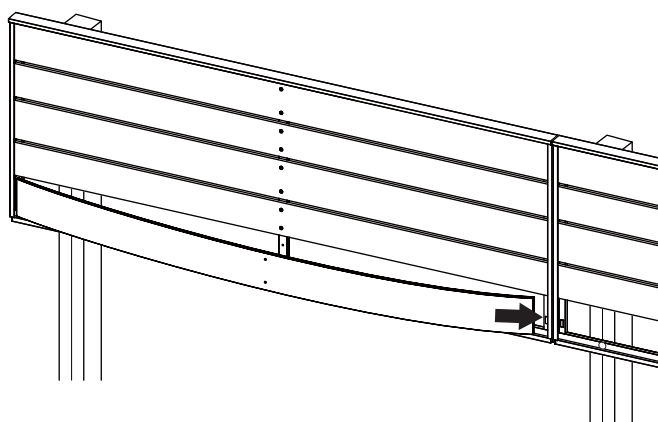


【6】 最下段のアルファウッドを取付けなおしてください。

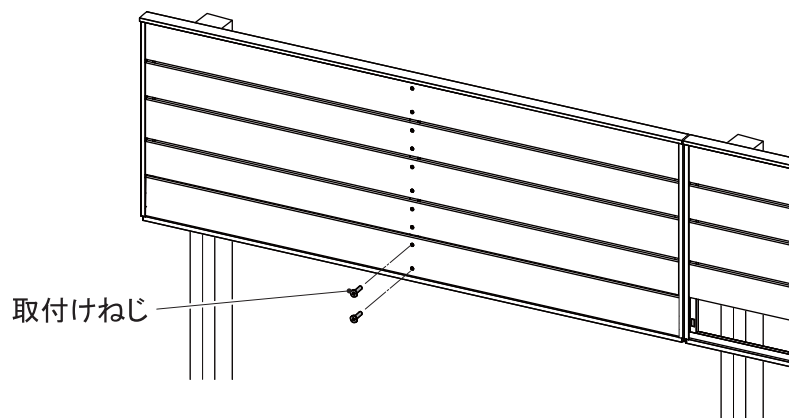
①アルファウッドの片側を
端部カバーに挿入する



②アルファウッドを軽く曲げながら
もう片方を端部カバーに挿入する

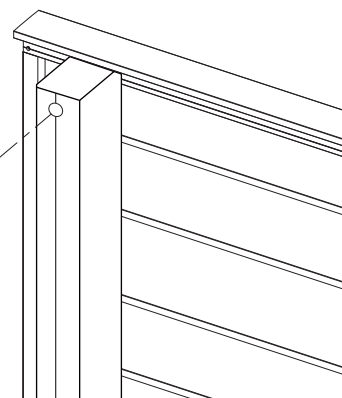


③取付用ねじで固定する



【4】 背面のφ10穴を穴隠しキャップでふさいでください。

穴隠しキャップ



G 補強レールについて

1 補強レールの使用方法

補強レールは、アルファウッドおよびアルファウッドユニットフェンスの板材にオプションアイテム類を取付ける際に必要な部品です。

以下の手順で、アイテム類を取付ける板材の上部に取付けてご使用ください。

アイテム類の取り付け方の詳細は、それぞれの製品の組立説明書をご覧ください。

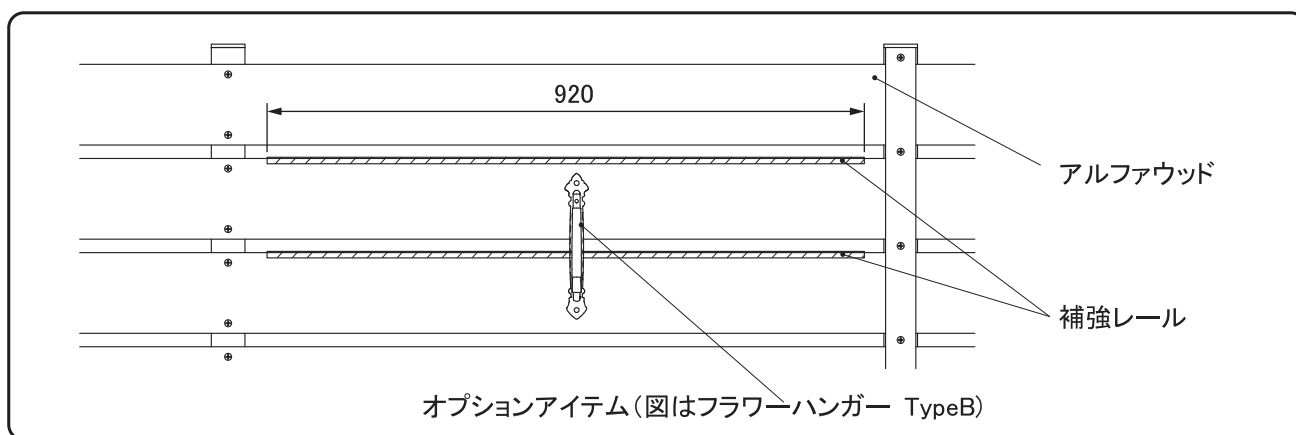
※アルファウッド笠木を付けた場合の最上段板材及び、アルファウッドユニットフェンスの最上段には、補強レールは不要です。

2 補強レールの取付け

① アイテム類を取付ける板材に、補強レールを取付けます。

柱間の距離が短く、そのままでは取付けられない場合は、適当な長さに切断して使用してください。

② 裏側から付属のナベタッピングネジで固定します。



注 意

- ・ポリカパネルには補強レールやアイテム類は取付けられません。
- ・下記の耐荷重以上の力をかけないようにしてください。
- ・アルファウッド板材にアイテム類を取付ける際は、必ず補強レールを使用してください。
補強レールを使用しないと、アルファウッドが変形・破損するおそれがあります。
- ・荷重がかかるすべてのアルファウッド板材に対して使用してください。

耐 荷 重
補強レール 1 本につき 6 kg まで

工事店様へ

- ◆改造、変更はしないでください。
- ◆組み立て終了後、ねじ類の締め具合を確認してください。
- ◆組み立て終了後、取付説明書、取扱説明書は御施主様にお渡しください。

御施主様へ

- ◆普段のお手入れは濡らした布でお拭きください。
- ◆汚れがひどい場合は中性洗剤を薄めて使用し、洗剤が残らないように拭き取ってください。
- ◆シンナー、ベンジンなどの溶剤のご使用は、絶対にお止めください。製品表面に影響が出る可能性があります。



〒601-8317 京都市南区吉祥院新田貳ノ段町45
TEL 075-681-2891 FAX 075-662-1190
株式会社 傳來工房

DSL-IM7
2014. 09A